2—681

明治四十四年八月一日第三種郵便物認可
大正三年五月十五日發行
（毎月一回十五日發行）

廓清

第四卷
第五號

廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

會員諸君に望む

吾人は、吾徒の主義主張を傳へ、輿論の勢力を作らんが爲め、毎號本誌を普く天下に頒布せん事を欲す。然れどもそは元より本會財政の許すところにあらず、これ常に吾人の遺憾とする所なり。於玆吾人は、幸に本會の趣旨を贊し、吾人と共に此一大人道問題解決の爲に貢獻せられむとする諸君に對し毎號諸君の讀み了られたるものを以て知人より知人へ轉送回覽せしめられむ事を願はんとす。蓋し如斯にして一冊の本誌を數冊と同一の效力を生せしめ幾十萬人の前に吾徒の主張を陳述するの効果あらしむる事は、豈簡單にして而も有効なる運動法の一たるなからんや。冀くば我徒の微衷を諒とし協力一致、輿論喚起勢力振作の一助として諸君の實行を望むや切也

東京市神田區美土代町三丁目三番地

廓清會本部

出版書目

歐洲諸國醜業公認制度廢止運動

定價一冊 拾五錢 郵税貳錢

右は先般本邦に來援せられたるモーリスグレゴリー氏の著書を翻譯せしものにして、安部磯雄氏の嚴密なる校閲を經たるものなり。自己の研鑽の爲め將又主張貫徹の爲め、最も有力なる武器なり。奮つて購讀あらんことを望む。

廓清叢書第一卷 **公娼廢止論** 伯爵 大隈重信述 / 廓清會理事 益富政助述

廓清叢書第二卷 **此罹災者を救へ** 救世軍大佐補 山室軍平述

廓清叢書第三卷 **道樂者への強異見**（品切） 救世軍大佐補 山室軍平述

廓清叢書第四卷 **自由廢業を奬勵する理由**（品切） 廓清會長 島田三郎述

廓清叢書第五卷 **廓清會組織の趣意** 廓清會副會長 安部磯雄述

廓清叢書第四卷 **公娼制度と社會の風儀**

定價一冊各貳錢 郵税六冊迄貳錢

會費の納入

從來會費の納入は、爲替、切手、郵便集金等によりたるが以後はなるべく左の口座により拂込相成度し

振替東京二七〇七二番

東京市神田區美土代町三ノ三

廓清會本部

電話本局四九四〇番

會員の文書

雜誌及會費に關する書信等は便宜上すべて左の處へ宛てられ度し

東京市神田區今川小路一ノ三

伊藤秀吉方

廓清編輯所

大正三年五月十四日納本 一部定價金六錢
大正三年五月十五日發行（毎月一回十五日發行）

編輯兼發行人 神田區今川小路一丁目三番地 伊藤秀吉
印刷人 神田區三河町一丁目十四番地 小林照雄
印刷所 神田區三河町一丁目十四番地 丸利印刷所
發行所 神奈川縣川崎町砂子百三番地 廓清發行所

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

THE PURITY
廓清

第四巻第五號（五月）

目次

□廓清時言……益富　政助
□大隈伯の風俗論……大隈　伯爵
□在外賤業婦の取締を論ず……添田　博士
□大赦の有力なる一條件に就きて……片山　博士
□私生子と里子と貰子と……高田法學士
□大正維新は廓清運動にあり……西内　天行
□茲にも亦廓清の必要あり……水津　千雲
□婦人と常識……棚橋　絢子
□不貞潔の罪……しなん
□岡山遊廓の妄状……有無生
□白十字社の事業……横山　栖雲
□雜誌の雜誌　△宗教界　△思想界　△婦人運動
△修養　△貞潔　△社會　△生活　△談叢……
……諸名家

時評

廓清時言

大隈首相を訪ふ

本會顧問大隈伯爵が、七十七歲の老軀を提げて未曾有の擾々たる難局に立たるゝに至りたるにつき、本論の記者は伯を早稻田の私邸に訪ふて祝辭を述べ、矯風問題に對する經綸を叩く。伯は例によつて快濶に大命降下より内閣組織の事情を說き起し、今日の日本が大なる危機に瀕せるを坐視するに忍びずとて、『百二十五歲說は取消すとも、國難とあれば不得已、總てを犧牲とし、一死正に君國に獻げんのみ』と語られ、更に『今や國民道德の頽廢實に甚しきものあり、寔に之れ國家の深憂大患也。罪惡素より何れの世にも拭ひ去るを得べからず、されど未だ以て今日の如く國家全體の腐蝕を見たる事は之れあらず、此の罪惡を廓清し、健全なる國民道德の振興を圖るは之れ我黨の使命也。抑〻藝妓屋の主人などが大會社の重役となり、社會は平然として何等の指揮を加へざるが如きは、國民道德の痲痺を明證するものと謂ふ可し。藝妓とは何ぞや、明に賣淫婦にあらずや。更に又神聖なる國家の政治が紳士の恥づ可き待合の如き場所に於て議せらるゝが如き、不埒も亦甚し、余は斷じて待合政治を排す。吾人は鐵槌を揮つて此惡俗を打壞せざる可からず。』と。

何ぞ其言の壯にして快なるや。余は更に談を公娼問題に轉じ、制度廢止の第一着手として、先づ娼妓の自由を擁護し、廢業を容易ならしむる事、今日の警察署が動もすれば樓主側に同情して明文の自由廢業を困難ならしめつゝあるを慨し、之れが勵行を望みたるに『諾、それも我黨の受持なれば屹度實行せむ』と一言鐵よりも固し。今は確に惡の日也、敎の時也。願くば大能の神の祝福我老伯の上に裕なれ。

婦人の權利擁護と敎會同盟

今回日本基督敎會同盟大會に於て、小崎會長の提出にかゝる左の諸件を可決せられたるは、愉快なり。

一、婦女誘拐の刑法を改正する事

二、養女の制度を改めて人道に反する目的の爲に女子を養ふことを嚴禁する事

三、女子承諾の年齡滿十三年を滿十六年と改むる事

四、有妻姦の刑目を設くる事

五、公娼制度全廢の事

右の條件の爲めに一方輿論を喚起すると共に衆議院へ建白する爲め特別委員を擧げ、之れを調査し、其實行を期する事

また藝妓を公けの式場に招きて接待せしむるが如き事に對しては出來得る限り抗議を申込むことをも決議し、其實行方法

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

は常議員會に一任する事となれり。右に關する特別委員如左

小崎弘道氏、星野光多氏、安部磯雄氏、益富政助氏、宮腰信次郎氏、平澤均治氏、留岡幸助氏、

本件に關しては更に次號に詳論する所あらん。

露國護疆軍の禁酒

露國護疆軍團長は、全國護疆軍に對し最も嚴重なる禁酒命令を發し、哈爾賓に於ても其命に接せり。此命令は頗る極端にして、將校集會所の宴會にまで酒の使用を禁じ、觀兵式にすら祝盃を擧ぐるを廢したり。下士以下に對しては一層嚴にして、一度現行を發見されたるものは決して下士に昇級せしめずといふ。

酒に對する國民思想放縱なる間は到底風紀の振興を見る事難し。露國の軍隊に於ては斯くも熱心に禁酒の問題に就て考慮する時、我國に於ては嘗て某長官は某軍人が禁酒演說をなしつゝあるを見て大に之を咎め、さながら之を危險思想の如くに思ひ、遂に彼の禁酒演說軍人を首斬せり。驚くべき差なるかな。

御大葬と花柳界

一昨年九月十三日畏くも先帝の御大葬の當夜が、東京吉原のお客は其前後に於て最も多數を占めし事は、其頃報道せし所なるが、京都の花柳界に於ては今回の御大葬の折を見計らひて、一儲せんと計畫しつゝありと云ふ。忠誠陛下を思ふもの誰か痛嘆せざらんや。

嘲笑では濟まされず

大阪朝日新聞が「嘲笑」をそのまゝと題して記載する處によれば、昨年十一月岡山市に於ては縣敎育會主催にて敎育家、政治家、實業家等相寄り、敎育同志會なるもの生れ出で每月一回寄合ひをなし、風敎刷新の方法に就き論議しつゝあり。而も其會員の中には現に「妾」を圍ひ、『朝日』の口調を借りて云へば『藝妓はんとえい仲の不良老年』多くありて盛んに青年墮落の範を示しつゝありといふ。而して最近の調査によれば、同市不良少年の中八名は妾腹なりし由、吾人は朝日記者と共に中村氏の喜劇「嘲笑」は『面白い事ね』、と嘲笑しても濟まさるべきも、斯く嘲笑を實社會にて臆面もなく演ぜられては、嘲笑して濟まし居る譯には行かざる也。（以上球川）

本誌前號廓清時言中、小學敎育の神聖を冒瀆すと題する記事は事實相違の點ある由につき、左の通り取消す。尙記者の攻擊を見て、奇貨措く可しとなし、爲にする者ありて各新聞紙に校長排斥運動起ろが如く傳へられたるは氣の毒なりき（江南）

拜啓 大正三年四月十五日貴會發行の廓清時言中小學敎育を冒瀆すと題し、本校に關する記事中事實相違の點これあり、甚だ迷惑を感じ居候間、次回發行の誌上に於て、御取消相成度此段申入候也。大正三年四月廿七日、牛込赤城小學校

廓清會本部御中

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

論議

大隈伯の風俗論

一　封建武士道の精華

凡そ風俗の變化は人心より來る。社會は繼續的のものであるから、風俗の淵源を討ぬれば遡つて大古に至らねばならぬが、德川幕府の末、歐羅巴文明の接觸は、發して維新の戰爭となり、遂に七百年の歷史を有する封建の敗滅を見るに至つた、これが抑〻日本の風俗に大變化を起した近因である。一體民心に變化を與ふる戰より大なるはない、人が死生の巷に立つ、此時程精神に動搖を與ふるものなく、動もすれば在來の秩序が悉く破壞さるゝ。如何に軍隊に規律があり、風俗が秩序的であるといつても、其等は跡方もなく壞亂して了ふ。

我輩は別に舊風俗を善いとは云はぬ。乍併或點に於ては容易に沒す可からざる美點がある事を述べたい。封建時代の生活は、素朴にして簡易、勇を尙び義を尊んだ、之が武士道なるものである。武士道なるものは之を一言に說明すれば禮義廉恥である、詳言すれば武士たるものは秩序を重んずると同時に又義を重んせなければならぬ、義なるを以て勇を生ずる而して一方禮を守る、敵にも猶之れを失はぬ、此に至れば禮が義に結合する、更に廉恥を重んずる、武士たるものは素朴な簡易な生活に滿足して利慾から遠かるべきものだ。苟も金錢を愛するといふは商人の徒たるべく、武士の重んずべきは名譽である、若し之をしも傷けられんか潔く命を棄つる即ち決鬪する。又然るを得ざる場合にして而も拭ふ可からざる汚辱を受けんか、乃ち割腹する。割腹の意味は我腸は左迄に穢きものでない、疑はゞ是れ御覽ぜよといふのである、一劍地に伏して自己の廉潔を示す、是は武士たるものゝ忘る可からざる心得であつて、是れによつて自己の恥、家門の恥、子孫の恥、末代迄の恥を雪いだのである。

斯うした精神が武士の心脾に泌み込んで居たのみならず、波及して市民を化した、否化するのみではない、武士が事實に於て澤山市民の中に流れ込んでゐる、即ち度々浪人なる者が出來る、鍬を執つて畑にも立てば、算盤を彈いて店にも坐る、人に傭はれて賃銀も取る、有りし姿は樣々に變れど變らぬものは其血肉を化した武士的精神で、之を何時迄も持ち傳へる、或は又一朝風雲に際會すれば再び召し抱へられて武士と爲る、更に主家が亡んで浪人が庶民の間に擴がる、即ち表面には武士と市民との階級が截然と分れて居たけれども、事實に於ては兩者の血液が互に混淆して居つた。之れを歐羅巴諸國に於ける、賤民は永久に賤民、貴族は永久に貴族であるものに比すると非常の相違である。從つて自ら武士の氣象も

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

東西甚異り、我國の武士は歐洲の武士の如く尊大でなく、物の情を知るといふ事が一面又武士的精神の眞髓となつてゐる。貴族的の高尚優雅な性情を養ふと同時に平民的の深い同情心を保つといふ事が武士たるものゝ心掛くべき事となつてゐた此同情心は自然弱者を憐む事となる、此に於てか强者に反對するといふ偉大な精神が發揮さるゝに至つた。

二　江戸風は上方風に征服せらる

然るに一度外國文明に觸るゝや、舊物破壞の運動が猛然として起つた。先づ封建を廢して王權の下に統一を謀つた。此の根柢の搖ぎと共に之れに從ふ萬般の動搖は相次いで起らざるを得なかつた。封建によりて施されたる藩々の教育は一大變化を來した。封建の諸侯二百七十餘家、山河の形勢に依り、嶮を憑んで割據し、交通の不便は言語に絕し、海外旅行以上の面倒な關門があつたのが忽ち自由になつて了つた。為に舊社會の風俗は根本より破られた。宗教の風俗に及ぼす力は偉大なるものであるが、御維新後には忽ち廢物の形となつた。

此の萬物一新の大運動の勢力中心は京都であつた。藩々の武士は此處に蝟集し、有志、志士と稱し、尊王攘夷と號し、慷慨悲憤を事とし、優美典雅の京都は忽ち血醒き巷と化し、三條磧、四條磧といふ如き處に首を梟しては敢て天誅と稱した。斯かる物騷な時世となりては最早人間の弱點として、尋常なる道德の小規矩、小準繩に束縛せらるゝものでない、況して旅先である、秩序壞亂の世である、奔恣逸遊、士人の德操ある者と雖も此間に處して其全きを期するは困難であつた。茲に於て風俗は全く頽廢して了つたのである、而して此頽廢せる風俗が、更に猛然として江戸を襲ふたのである。

江戸の女は元來一種の他に異る風格を具へて居つた。元々封建的の將軍の居所だから非常に一方に惡い風俗もあつたけれども、他方には又德川家の起つた三河の素朴な風が、更に關東の勇敢なる風に結びついて義俠的な精神がある、即ち江戸の女は武士的であつた。換言すれば江戸の武士道は女が代表したと云つても宜しい。彼等は意氣を重んじ、平素足袋を穿かぬ、寒風膚を劈く時も尚左樣である、髮にも油を着けず白粉も人目に見ゆる程には用ひぬ。そして動もすれば腕を捲くる。藝者の如きも氣を尊び、藝は賣れども身は賣らぬ、大名などが黃金を以て節を買はうとすると生意氣なとて劍もホロゝに撥ね着くる。是は幕末迄通つたもので、其衣服の如きも極て地味なものを用ひ、京都に比して著しい差違がある。

上方は力を極めて粉裝する、髮にも滴る許り油を施し、衣服も派手な、特に色彩の强いものを選ぶ、嫋々と吹く風にも心おかるゝ風情を以て美とした。而して其節操はといふと藝者か娼妓か分らぬ。今日は藝妓といつて藝者と妓とを一つにいふが、是は墮落したる今日の藝者に適當な語で、妓とは元は藝者より卑しき者の意味に解釋したものだ。然るに時勢は一變し、關西が關東を征服し、京都から江戸に遷都せらるゝに及んで、忽ち江戸の仁俠の風を一掃し、遂に女性迄も上方風が浸染し、同時に藩々の野武士共が多數入り込んで跋扈す

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

るに至り、かの江戸式の淡粧も何時しか濃艶の粧ひと變じ、節操も亦衰へて娼妓と選ぶなきになり、非常の墮落を見た。卽ち政治上の征服者が又風俗上の征服者となつたのである。

三　風紀弛緩し社會の統制力亡びんとす

斯かる處へ外國の思想が滔々として流れ來り、其處に日本在來の文明と調和の出來ぬ一知半解の新文明が現れる、そこで新舊の衝突が起つた。思想界は其據を失ひ、墮落せる人間は自己の我儘が出來るやう偏へに舊きものを惡とし、新しきものを善として迎へた。爲めに風紀の頽廢は上下に及び、日淸日露の兩戰役を經て惡風は愈〻募り、而も傲慢を加へて自己の墮落を粉飾するに至つた。特に外資輸入の爲に突然富を增した結果商業上に大變化を起し、伴ふて商業道德の腐敗を釀した、今日頻りに商業道德の研究說かるゝは、其必要あるに因る、以て其弊の頗る重大なるを察すべきである。無神論者が殖へて來た、眞面目な信仰を有するものは多く智識低き階級に屬するといふ有樣となつた。從つて斯かる俗衆に對する宗教も亦從來とは其趣を變じた、信仰が衰へた。坊さんの說敎も自ら變化なきを得ぬ、卽ち新しい民心に迎合して必ずしも舊道德を固守するとせぬ。斯くの如く諸般の事が無意識的に變化して來る。一方には法律的、行政的に社會狀態が改めらるゝと同時に、更に他の一方には內部的に暗示的に諸種の社會的娛樂機關に變化を來す、民心は愈〻頽廢する、茶屋に遊び酒を縱にし美人に戯むるゝといふ事が盛に行はるゝ。是が俗を爲すと人心が次第に卑近なる快樂をのみ羨む事となり、各自の內心は次第に變化を生ずる。斯くして從來存在した社會の統制力なるものが亡びて了ふ。民心に何等の標準なく、根抵なく、徒に新を追ふて趨る、危險これより大なるはない。社會の上位に立つ人々にして能く其操行を守り、謹嚴己を持するに於ては、全社會も亦導かれて自ら良風美俗を馴致し從つて其安寧と幸福とを促進し得可く、暗示の力は實に偉大なものである。從つてそれが反對になると誠に困つたものである、彼樣いふ偉い人にして猶且つ斯樣いふ惡い事をした、されば我々がやつても差支いなからうといふに至り、學校の敎育も家庭の訓誡も此惡感化の前には其力を失ふのである。而して今日は此危機に立つてゐる。

乍併他方に於て人には各遺傳なるものがあり、それに因つて賦與せられた良性は、境遇が與ふる後天的の感化によつて一朝にして滅絕すべきではない、封建時代の精神卽ち義に勇み恥を重んずる精神は、我等の血液に化して今猶腦裏に湛へてゐる。秘密なる其力は民心の奧底に不斷に潛在する、此力用ふべし、是れ我輩が、容易に現在の墮落に絕望しない所以である。

四　正義の念猶民心の奧底に潛在す

今日は公人が公然社會の表面に立つて惡を爲しても猶ほ且つ恥づるを知らぬ時代である。蓋しこれは明に社會の制裁力の弛緩を證する。此の如きは只成行に任せて宜からうか、惡

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

を爲す者それ自身にも、自分一人は扨て置いて、其子供が親と同じ様に善からぬ振舞をしたら如何であらう、如何な惡人も我子迄惡人にしても構はぬといふ者は有るまい、如何な放埒な親でも、我子にも同じ放埒をさせて平氣で濟ましてゐる者はあるまい、一度び己れを離れて其子女の上に思ひ至らば忽ちこれでは困ると自省の念が猛然として振ひ起る可きである。子は親の眞似をするに定まつてゐる。今日は一度び法律に觸れた前科者、及び觸れんとして僅に免れし者、既に一度は捕はれ、獄窓の飯を味ひ、唯證據不充分の故を以て辛うじて赦された者、斯かる者共が猶頑として羞づる所なく、公々然社會に濶步して居るではないか、待合の亭主や藝妓屋の主人が猶且傲然として社會の表面に活動して居るではないか、此の如く誰の眼にも恥と映ずべきものを恥とせぬといふのは實に社會の秩序の紊亂し盡した爲である、所謂紀綱が亂れたのである。此に至つて官吏も官吏のデシプリンを失ひ、所謂官紀紊亂を起すも已むなき次第である。濁流澎湃何處に極まらんとする、物極まれば卽ち通ず、民心に潛在せる正義の力が今や漸次躍動せんとしつゝあるを認むる。

五　吾人の力を注ぐ可き一大使命

凡そ失敗は道德に於てするもの程寒心すべきはない。行政の失敗なら氣附いた刹那より直に治る、財政の失敗なら儉約すれば直に治る、外交の失敗なら方針を改むれば又取り返しが出來る、獨り道德の失敗に至つては致方がない、人の心のドン底からして腐り初めたものは殆んど治し難い。然るに此恐るべき道德的腐敗が漸次に蔓延し、殊に日淸、日露の兩戰役を經たる後一層盛んになり、凱旋將卒の胸に燦爛たる勳章を着け、若くは榮位顯爵を帶ぶるといふ事の暗示が更に民間の頹敗的氣風を助長した。日淸戰役後二十年、餘程秩序も整頓し風俗も善良に移るべき年月を閱したるに、それが逆に却つて衰へ、特にそれを折半した次の十年は、戰勝の光榮前者に比して一層大なる程、弊も亦一層を加へた。これが今日の政治上にも敎育上にも商工業上にも、社會全方面に腐敗の彌蔓し、甚しきは軍隊に迄及ぼし、廉恥を尊び、名譽を尊び勇を尊び、特に素朴なるべき、質實なるべき、剛毅なるべき軍隊の上に、國民の疑惑が向けらるゝに至つた。何から是が由來したか、我輩は何としても之を維新の政變に本きて、變遷したる風俗の惡感化に歸せざるを得ぬ。

此に至つては、何等か根本的に風を移し俗を易ふるの方法なかるべからざるが、これを矯正するには社會を統制するに足る大なる正義の輿論を喚起するが第一である。それには孔子の敎へ、就中荀子の所說の如く禮を以て之を制し、秩序を以て之を率ゐなければならぬ。國民今に於て大に戒心する處ないならば、我國運の今日迄の發展も、二度の戰勝の光榮も、將たそれに因つて示したる威嚴ある我軍隊の力も、忽ち世界の嗤笑指彈を受くるに至り、盛名は一時にして又衰へ了はるであらう。何も抽象的な漠たる大正維新などゝいふ事を叫ばずとも、卑く眼を風俗に注ぐがよい、其處に今當に吾人の力を用ふべき一大使命を見出すであらう。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

在外賤業婦の取締を論ず

日本勸業銀行總裁
法・學博士　添田壽一

記者曰、博士は常に貞潔問題に就ては侃諤の論を公にせられて居り、學識、人格共に一世を指導さるべき人である。記者は一夕博士を訪ふて在外醜業婦の取締につき其高見を叩く事を得た。博士は記者に示すに一の演説筆記を以てし、これは二十年前專修學校でなした演説である、愚見は玆に盡して居る積りであるから見てくれとの事であつた。既に二十年の昔此説があつたと思ふと實に愉快千萬であるが、今日猶之れを掲げて世を誨へる必要があるといふのは何たる遺憾な事であらう。

一　奬勵すべき移住と排斥すべき移住

元來外國移住といふ事は甚だ宜しいことである、殊に我國の如く年々頻りに人口が增加し、土地の範圍の限られたる國に於ては須らく外國移住を奬勵すべきである、故に外國移住と申す事は單に經濟上から許りでも可成多い方が宜敷いのである。けれども今一層廣き點より之れを觀るならば一概にいふ事は出來ぬ。然らば果して如何なる移住が惡いかと申すと、兵役の義務、負債の義務、若くば納税の義務を免れむが爲にする者、刑罰を免れむが爲に移住する者等であつて是等の法律上の義務を免れむとする移住は之れを禁じなければならぬ。或は又政治上外國を侵略しやうとか、若くば外國と戰端を開かうとかいふ如き目的を以て移住を爲す者があれば、其氣力は感ずべきであるがこれも禁じなければならぬ。特に不道德なる目的、例へば醜業を營まむが爲に移住する者の如きは勿論奬勵すべからざる事である。されば如上以外の移住に至つては頗る我國の急務であつて、殊に經濟學者の勸奬すべきことである、同時に賤業者の出稼は正當なる移住を妨げ國運の發展を阻害する者として排斥しなければならぬ。

二　慘憺たる彼等の境遇

在外日本婦女の狀況は、新聞其他によりて多少傳へられては居るが、事實の眞相は想像以上にて殆んど牛馬の如く取扱はれて居るのである。今日は東洋の沿岸諸國到る處日本醜業婦の足跡を印せざる處なき程で、朝鮮、滿洲、上海、香港、新嘉坡兒、南洋諸島を始め北亞米利加の僻陬迄も入り込んで居る。而して其年齡は十五六歳より二十四五歳までが多い。地方別は長崎縣を最とし、中國邊りや大阪邊が之れに次いで居る。彼等は如何にして出て行くかといふと、盡く欺されるのである、例へば外國に行けば奇麗な衣服が着られて甘い食物が食べらるゝとか、或は又少し學術思想を有して居るものには、亞米利加に往けば立派な學校に入れてやらうといふ樣な甘言を以て欺くといふ事である。如斯詐欺の手段を以て買集めた人間は何者が支配するかといふに、多くは水夫上りの實に殘酷極まる人間である。斯ういふ人間が許多の婦女子

を集めて積出す有樣は酷薄實に目も當てられぬ有樣であるといふ。例へば長崎の如き開港場より積出さうとすると警察が立入るから、密に三十餘人を小舟に乘せて夜に乘じ港を漕ぎ出し、離れ島に至つて外國船の立寄るのを待つてゐる。だから時として怒濤天を衝くの不幸に遭遇すれば、數日海中に漂ふやうな事もある。併し英國船は道德の考があるかどうか知らないが決して之に應じない、他の外國船は大概立寄るが、就中最もよく幇助を與ふるものは獨逸船であるといふ。此方法は乘つてからよりも乘込む迄が非常な苦辛であるが、甚しきは長崎から直に乘込むものであつて、石炭に紛れ、これと一緒に積込まれるのであるから石炭の中に埋れて了ふ。斯樣に致して愈々香港へ上陸する。石炭の中に埋まつて居た者は眞黑の顏して白晝市中を歩いて居る、やがて彼等が顏を洗つて粧飾を施し、こゝで仲買人に買渡される。更に仲買人から南洋諸州其他日本人の足跡を見ざるやうな遠地へ賣飛ばされ、人間無上の恥辱を受け、牛馬に等しき待遇を受くる。甚しきは公園の如き所にて衆目に曝される。

右の婦人等の中には隨分彼等が黠策狡手に欺かれたるを悔い、歸心矢の如く望鄕の念腸を斷つが如きものあるも、最早如何とも詮術なく空しく異鄕に不歸の鬼と變ずるより外はないのである、或は其間殘忍な虐待を蒙り非常な不幸に出會ふことは時々日本の新聞にも見えてゐる。既に先頃も大島の岸に三十人の屍體が漂着した、何れも三十以下の婦人であつたといふから、如何なる運命の婦人であつたか察するに難くない、現に伏木丸の如きも賤業婦女子を石炭釜の近所に入れて香港へ往く途中、十一人の中八人は死んで了つたといふ、それを引出す時の慘澹たる有樣は二目と見られなかつたさうである。此一事最もよく賤業婦の悲慘なる境遇を語つてゐる。

三　取締法制定の必要

玆に於て攻究すべきは干涉の必要がないかといふ事である私は充分に干涉の必要があると思ふ。何となれば斯くの如く外國に出稼をする所の日本の賤業婦女子といふものは果して外國人に向つて如何なる感觸を與ふるものであらうかといふ事を考へたい。外國人は此の不潔破廉恥の賤業婦のみを見て他の立派な淑女を見ないから、勢ひ日本人は總て如斯ものであるといふ考を起すであらう。加之彼等娼婦は其風俗の然らしむる所とは云へ、白晝現に私が目擊した處であるが、香港の市中に參ると、最も人の集る所に日本の婦人が振袖の衣服などを着してせだん椅子に乘り、自ら廣告を爲し歩き、恬として恥づる樣子がない。これ等を見る外國人は、日本の婦人とは如斯ものであるかと思ひ、道德の低級な、劣等な人間であると斷定を下すのは誠に止むを得ないのである、斯樣の有樣にては如何に當路の人々が辛苦經營して條約改正に從事しても、如何に立派に煉瓦石造の家屋を建築しても、如何に立派な法律を制定しても、外國人が我國を蔑視する感觸を取り去る事が出來ず、外交官が何程日本の事を賞讃しても、實際政權を掌握して居る所の多數の人民が承知しないから、

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

徒勞に歸して了ふのである。況んな外交官からも屢々賤業婦の醜態を本國に知らせて居るかも知れぬ。故にこれは政略上よりしても決して打捨て置くべき事でなからうと思ふ。

次に人間の道理の上から考へて見る。既に各國の開明政府に於ては奴隷制度といふものは禁止せられて居るではないか然るに之は奴隷制度ではないであらうか伺ひたいものである私は奴隷制度の最も甚しきものであると、最も卑しむべきものであると信ずる。彼の奴隷なるものは勿論自由勞力とは申されぬ、けれども兎に角正當に筋力を以て働くものである不道德なことをするのではない。然るに賤業婦に至りては決して筋力を以て働くのではない、否言ふに忍びざる行爲にて糊口するものである。一般の奴隷制度を廢するは開明諸國の義務である以上、此最も卑しむべき奴隷制度は、其當該國たる日本に於て放棄して置く事の出來ないものであるのみならず、外國より人道上注意せらるべき程のものである。

元來在外娼婦はこれを誘拐し、或は詐欺の手段を用ひ、更に虐待するのであるから、全く刑法上の罪となるものである。然らば法律に於ても充分之れに干渉する必要があるではないか、乃ち獨り政略上干渉すべきものたるのみならず、之を人間の道理上より視るも、之を法律成文の上より見るも、正に充分干渉すべき必要があるといふ事は明々白々である。

四　反對論者の謬見＝一＝

併し乍ら世には兎角反對して見度がる人があつて、隨分以上の議論に反對を試むるものがある。彼等のいふ處は

第一、左樣な法律を設けても無效だといふ。私は難者に向つて問はんとする者である。若し果して之れを處分する法律を作りても法律は行はれぬものであるといふならば、何の爲に他の法律といふものは制定せられたものであるか、斯かる不德義なる而かも刑辟に觸るゝ如き所爲をも尚ほ處罰する事が出來ぬものであるならば、一切の法律といふものは行はれず、從つて廢止に歸さなければならぬといふ結果に立至るであらう。然し法律といふものは決して左樣に一概に排除すべきものにあらずして、制裁力を備へ執行の道が其宜敷を得たならば行はれぬといふことはあるまいと信ずる。

第二、契約の自由であるから自由を防ぐるに及ばぬ、といふものがあるが、決して自由を妨ぐるのではない、殊に彼等は好んで行くに非ず——中にはあるかも知れぬが大體に於て——多くは皆甘言に欺かれ、姦手段に乘せられ、後に至つて悔ふる者比々として然りである。假りに一步を讓つて好んで行く者があつても恰も人が咽笛を斬らうとすると同樣である否それよりも一層其害が甚しきものである。何となれば咽笛を斬るのは其人一個の害に止まるけれども、賤業婦の所行に至りては本人は勿論、他人に迄も害を及ぼし、詰る所我國の體面を傷害するものであるから、速に之れを撲滅しなければならぬものである。故にこれは契約の自由であるとて處罰するの法則を設けざるのみならず、傍觀坐視して何等の方法を講せぬといふのは其當を得ざるも亦甚しい。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

▲第三▲ **法律の體面が惡い**、といふ人がある、これが所謂日本近來の通弊であつて、表面許り立派であれば宜いといふ考から來るのである。斯かる有樣では到底國家の基礎を鞏固にする事が出來るものではない、如何に日本國が實際に害を蒙り、如何に日本國が實際に不名譽を來し、如何に日本國が實際輕蔑を受けても、それは更に意に介するに足らぬ、何でもいゝから表面を裝飾すれば足る、といふ頭隱して尻匿さずといふ諺の如き有樣であつては、甚だ怪しからぬ事であらう。

五　反對論者の謬見＝二＝

▲第四▲ **內國に於ても續々斯かる人間が居るのだから外國への出稼人のみを止めても致方がない** といふ人がある。是亦大に誤つた說であつて、國內にあるものは我主權內に存するものであるから、之を遏抑禁制することは爲し易き事であつて現に我政府が着手しつゝある所である。凡そ內輪の事は之を禁止するに左程の困難を感ずる事もなく、制する方法もあるけれども、一度海外に出る時は、恰も曠野に虎を放つが如く、如何に之れを取締らんとするも決して行はるゝものではない。加之外國に出稼するものは我日本國の體面を汚し、恥辱を暴露しても、更に我國法に及ぼす事が出來ぬものであるから、一日も早く之れが取締法を設くるの必要があらうと思ふ。

▲第五▲ **斯くの如き事は外國にもある事であるから左樣喧しく騷ぐには及ばぬ** と或人は云ふ。成程外國にもあるには相違ないが、先づ私は外國と日本の區別を熟考あらん事を希望する。外國の賤業婦人は習慣の然らしむる所であるか、將た道德の程度が進んで居る故か、恥の恥たる事を知つてゐる、白晝恬然市中を彷徨するが如きものなどは一人もないのである。既に此點が異つて居るのみならず、歐米各國はどの位開明の度が進んで如何程強いといふ事が世界に認められて居る　假令一二の賤業婦が出稼に參つた處がそれによつて一國の文明道義が疑はれ尊敬價値を減少するといふ樣な事はない。然るに我日本國の如きは悲しい事には未だ文明の程度が何の位の點に至つてゐるかといふ事が充分外國に知られて居らぬ。從つて我日本が立派な見本を出す事をなさず厭ふ可く卑しむ可き醜業婦といふ見本を出して日本の價値を示さんとするならば、決して日本は眞正の價値を納得せしむる事は出來ぬ、而してこれから蒙る損害は測る可からざるものがある。故に外國に於て多少の賤業婦があるからと云つて捨て置く樣の事なく、日本は日本として格段の注意を要する事を認めなければならぬ。

▲第六▲ 今一つの反對は、**金儲になる故可なり**。といふ。之れは金さへ得れば如何に惡しき事をしても宜しいといふに同じく、取るに足らぬ反對である。終りに

▲第七▲ **現今の法令で既に充分である** といふ反對論がある。然らば現今の取締法なるものは如何なるものであるか、果して賴みとするに足るものであるか、乞ふ以下少しく述ぶる處あらん。（つゞく）

講壇

大赦の有力なる一條件に就きて

東京帝國大學教授
醫學博士　片山國嘉

一　禁酒を誓約せしめよ

連りに大喪に逢ひ、我等億兆は眞に哀悼の情に堪へない。謹しんで惟ふに御大喪に就いて大赦といふ事が行はれる。これに關して聊か私見を述べて當局者の參考に資したいと思ふ今日迄大赦は英照皇太后と明治天皇御登遐の時と二回行はれて居る、其結果はといふと何れも豫期に反した。先帝陛下の御時には其の成績に鑑みて局にあるものは隨分苦心をなし、免囚の保護法其他に細心の注意を拂つたが、乍遺憾結果は依然思はしくなかつた。されば今回皇太后陛下の崩御について前二回の經驗に研究を積み、必らず適當な措置に出でらるゝであらうと思ふけれども、私は　私として自ら有力なりと信ずる考案を提出して一考を煩はして見たいと思ふ。

抑々犯罪の原因を探究するに、飲酒が如何に其原因をなし動機をなして居るかを容易に發見する、して見れば大赦の免囚に飲酒の誓約を條件としたらば如何であらうか、これは極めて重大なる興味ある問題であると思ふ。若し彼等が飲酒の習僻を矯むる事が出來たならば、大赦の御精神に適ひ、本人の爲は勿論社會の爲に非常に結構な事であらう。斯ういふ案は誰も今日迄立てた事がなく、實行された事がないからと云つて排斥すべきではない、正に眞面目に研究せらるべき問題である。私が斯ういふ事を言ひ出すと、又例の禁酒論かと一笑の下に葬り去らうとするけれども、之れは決して机上の空論ではない、極めて實際的の論である。實行力さへ伴へば非常な效果を擧ぐる事が出來る、獨逸の統計によると犯罪の大部分は飲酒の關係がある事を明示してゐる。何故酒を飲むと犯罪をするかといふと、今詳言するの暇はないが一言にして云へばアルコホルの生理的に我々の精神の上に働く作用は犯罪を爲すに最も適當であるからである。云ひ換へれば酒を飲むと犯罪性を生ずるのである、これは統計の上の事實にして、又心理學上の事實である。今遽に議會がないのに法律にする事が出來ぬと云はば勅令でもいゝ、否此案はたゞに大赦に限つた事はない、特赦又は刑の執行猶豫にも推し及ぼしたいのである。私の作つた案といふのは左の如くである。

▲▲▲第一條　禁酒の誓約をなしたるものは之を條件として大赦、特赦、又は刑の執行猶豫を爲さしむる事を得

▲▲▲第二條　禁酒の誓約を條件として大赦、特赦、又は刑の執行猶豫を受けたる者にして、再び禁酒をなしたる時は、其時より效力を失ふ

▲▲▲第三條　禁酒の誓約を條件として大赦、特赦、又は刑の執行猶豫を受けたる者に對し、飲酒を勸めたる者には二圓以上二十圓以下の罰金に處す

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

二　再犯の素地は門外に待てり

即ち以上の三條より成立つのであるが、第一條に於ては何時でもといふのではない、此特典を受け得る場合ある事を規定する。禁酒の誓約は他から强ひて行はせては勿論効果がない、衷心から禁酒をすれば、出獄されるがと利害得失を熟考して、自發的の誓約するものでなければ效果は擧らぬ。從來屢々監獄の厄介になつたのは酒が本であつた、貧乏な爲めに盜みをした、けれども其貧乏も酒からである、放蕩のためについ惡事を働くやうになつた、其放蕩も酒の爲めに馬鹿になつたのである、一杯飲んだ酒の勢ひで人に怪我をさせたとか間接直接酒を飲まなかつたら、といふ處に氣がついて來るやう、典獄や敎誨師其他色々の人から酒の害を說き、今後社會に出ても飲めば又左樣な事になるといふ事を、懇に說いて聞かせてるやうに平生して置いて、愈々飲まぬと決心の出來た者は大赦の恩命に浴する事が出來るやうにしたらばどうか。

第三條は飲ませた者から罰金の徵收を規定したのである。之れも極めて大切な事である。元來飲酒の習慣は個人的であるが、同時に社會的である。色々斷つて辛つと盃を收めて貰ふ、辭退すればする程飲ませやうとする、而してそれが優待厚遇の道だと心得てゐる社會的習慣がある。これが甚だ個人を禍して飲酒癖を作り更に社會を禍ひするのである。御承知の通り彼等が放免になる時には、仲間がちやんと門前に待つて居る『いやどうも永い間御苦勞だつた、まあお祝だ、さあ一杯やらう』といふので、すぐ酒が始まる、斯かる有樣では到底駄目である。再犯の素地は彼等が門を出た瞬間からあるのである。これはどうしても飲ませたくとも飲ませられぬ、飲ませると俺れ迄罰金だから、仕方がない、出獄のお祝ひに牡丹餠でも……といふやうにしなければならぬ。一方獄內の禁酒奬勵と相待つて、社會に於ては宗敎家其他が御大喪で出た人は斯ういふ條件で出て居る、それに酒を飲ませるやうな事があると再び其友を監獄に入れる事になる、本人の爲めに酒を飲ませぬやうにといふ事を敎へる事も必要であらう。これ等は決して空論ではない、學問の根據の上に立てられた極めて實際的の案である。現に好個の適例がある、私が此案を思ひついた一原因もこゝにあつた。

三　ポラールド式の成功

亞米利加のメーン州には禁酒令が布かれて非常に好成績を擧げてゐる。又セントルイズの一警察に於ては、ウイリアム、ゼツフエルソン、ポラールドといふ人の行つて居る所謂ポラールド式なるものがある。これが私の考へたのと同じ精神なのである。即決裁判の場合にのみ應用せられてゐるけれども其結果が非常によいのである、百人中の八十人は奏効して居るのである。斯樣な似寄つた案が成績を擧げて居るといふ事は見逃す事の出來ないものであらう。即ちそれはお前は幾何の罰金である、それを納めるかどうか、出來なければ幾日拘留にならねばならぬ。それとも一年間禁酒をするなら罰金を

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

拂はぬでもいゝ、懲役にも行かないで宜敷い、併し或は又控訴するならそれでもよい、以上四つの内何れともお前のすきなものを選ぶがよい、卽答する必要はないからまあ緩り考へて見よと申し渡す。すると罰金を出すには金がない、獄裡に眠るのは厭だし、控訴するには金も要る、其上無罪になる見込も立たぬ。禁酒は苦しい、苦しいが金はいらぬ、いくら考へても仕樣がないので遂に決心して一層の事禁酒をしやうといふ風になる。さうするとちやんと深切に禁酒誓約の用紙が出來て居て名前を書き込めばよい樣に出來てゐるから、それによつて誓約が濟み放免される。若し之を破つて再び飲むと其時から罰金なら罰金懲役なら懲役といふ事になるから苦しくつても我慢する、而して時々ポラールド氏の處に報告に行く事にしてある、女房のある者は女房と一緒に來い、それも稼ぎの時間以外に來いといふ風にしてある。そこで時々彼等がやつて來る樣子を書いてあるのを見るに、最初に來る時は非常に苦しいと云つて訴へる、寧ろ罰金を出して飲んだ方がいゝと思ふ程だといふ。次に來る時には苦しいけれども併し酒を飲まずに仕事をしますのでお蔭で質に入れて居つた着物を出しましたといふ。半年の後には非常に血色がよくなる。服裝が來る度によくなる。殊に面白いのは人相の變化で、別人のやうに相貌が好くなる。斯くて一年間飲まぬと飲まぬが苦しくなくなつて、飲まぬ事によりて得る利益を喜ぶやうになり、折角今日迄飲まなかつたのだから、もう一層のこと生涯飲むまいといふやうな事になる。斯うした例が八〇%からあるといふのであるから大した成績である。

獨逸でも酒癖が強くどうしても飲まずに居られないといふ樣な人を矯正する爲に、酒癖治療所といふのがある、私が明治四十年に行つた時約三十ケ所あつたから、今では恐らく五十ケ所位はあらう。ワルトフリーデンの病院などは中で最も完備したもので、茲に入院するには一の條件がある、それは一年以内は退院しないといふ約束である。これは大槪さういふ風になつてゐる樣である中には二年の處もあるが、要するに一年乃至二ケ年、中途で退院せしめないのは全く酒癖を去るにはこれ丈の日數を要するといふ處からであらう、ポラールドが一年の條件も卽ち此の治療上の標準からであらうと思はれる。

四　下層社會に及ぶ影響

以上の案は犯罪を豫防するのみならず、間接に身體が丈夫になる、精神が壯健になるから、職業にも勵しむやうになり貧の爲めに盜む犯罪の機會が減じ、いつも理性が働くから精神を錯亂して不測の罪惡を爲す事がなくなる、從つて生活が安固になつて來て、監獄よりも家庭を樂しむやうになる。右によつて社會の得る利益も亦莫大なものである、唯に免囚のみか禁酒して社會の安寧を紊らないのみならず、下層社會の人にも免囚に酒を飮ますると罰金になるといふ關係から、飮酒はよい事でないといふ觀念が不識不知の間に心理的に影響していつか止めやうといふ心が誘はれ、社會改良の一番困難な點が、甚大なる波及がある事を忘れてはならぬ。

尙附言したいのは、免囚保護者なり、敎誨師なりが、誓約の保證人となる事である、これは何でもないやうであるが、違背すると此人達に濟まないと思はせるのは感化救濟上必要の手段であらうと思ふ。(文責記者にあり)

私生子と里子と貰子と

法學士　高田愼吾

記者曰く、左は國家醫學會に於てせられたる講演の大要である、吾人の參考となるもの多いと思ふから紹介する。

○

三年前に私の知つて居る或る二十幾歳になる婦人が私生兒を生んだ。女は悲慘な境遇にある者であつたが、男は相當の紳士であつた。女は產後の經過が好くなかつたのに、其病を養ふ丈の充分の資力がなかつた爲めにとう〳〵死んで了つた。生れた子はさる人の子として屆け出でられた。男は妊娠中より遠ざかつて何の盡す處もなかつた。

又或る男は芝のとある宿屋に女と私生兒を殘して何處へか消へて了つた。女は嬰兒を擁して見るも悲慘な境遇に陷つた。これが一つ二つの例のみであるならば社會問題として我々が研究する程の事はない、併し玆に正確な統計を以て擧證する迄もなく、想像だけで斯うした例の隨分多いといふ事を容易に承認する試みに明治四十三年の統計によると、結婚外の出生が十六萬人で總數の八、二%ある。英國では千人の內五十人は私生兒であり、匈牙利では十五歳以下の遺棄兒の半數は私生兒であるといふ事である。

○

私生兒は既に母の胎內に居る時から呪はれたる者である。生れて充分の扶養を受くる事が出來ない、相當の敎育も授けられぬ、從つて社會の厄介になる事が多い、彼等は主に虛弱兒である、白痴、風顚、低能兒が多い、フランクアンマインの調査によれば、私生子には死亡率が多く、犯罪人が多く、勞働に堪へぬもの、懶怠なる者、無能なる者が多いといふ。

私生兒には常に種々の犯罪が伴ふ。遺棄罪、戶籍法違犯、扶養の義務を盡さぬ、里子の虐待、貰ひ子殺しの類である。

そこでこれ等の不幸なる私生兒は如何に取扱ふ可きであるか、私は今それを研究して見たいと思ふ。日本の民法八二七條には、私生子の認知が規定してある。本法によれば父の認知によつて父は法律上の扶養義務者となるのであるが、父は自發的に認知の手續をしなければ扶養義務者とはならぬ。然るに母は如何かといふに當然法律上の義務者となるから扶養義務の負擔に於て男女は甚だ不公平である。又子供の方から云つても庶子は家督相續、資產相續に就て嫡出子に比し非常に不利益な立場にある、第一私生兒は父が認知しなければ家族たる事すら出來ぬ、尤も父の搜索權といふものがあるけれども、今日の民法に於て充分保護されて居るか疑はしい。これは是非共父が認知して扶養義務者となるとしな、ても、事實上の父たる事が明ならば扶養の義務を充分に盡さするやうにすべきである、纖弱な婦人一人に負擔せしむるが如きは餘り殘酷ではあるまいか。

外國ではどういふ風になつて居るかといふに、必ずしも日本のやうに父となる事を必要としない、事實に於て父と見られるならば負擔せしめてゐるのである、亞米利加のイリノイズ州にては、父は最初の一年に於ては少くとも百弗を支拂ひ後の年より一ケ年五十弗以上を九ケ年拂はねばならぬとしてゐる。マツサチユーセツツ、オハヨー、ニユーヨークの諸州に於ては裁判所の費用、兒童の養育料を皆な拂はせてゐる。獨逸に於ては隨分詳しい規定がある、私生兒の母の社會上の

地位に準じて相當の金額を以て父は十六歳迄扶養の義務がある、若し又子供の自活が困難であるならば十六歳以上と雖も扶養しなければならぬ事になつてゐる。

○

貰ひ子里子といふものがまた隨分ある、これは私生子の場合に多いが、其の然らざる場合も勿論少くない。之れが取締は日本に於ては全國に共通せるものはないが、併し縣令としては徳島、愛知、福井、高知、廣島の諸縣に於て特に取締法を設け、報酬を受けて五歳未滿の子女を養育する者は屆出でなくてはならぬ事になつてゐる。英國の兒童法に於ては七歳以下の子供を預り育てる者は四十四時間以內に屆けなければならぬ、生命保險を附けてはならぬ、といふ樣な規定がある。オーストラリアの兒童保護法は、三日以上母から分離する時は屆出でなければならぬ。

紐育にては里子を預らんとする者は市の兒童衞生課に出頭して一定の用紙に必要な項目を書き込んで出す、すると市の囑托醫が里親の許に行つて子を育つるのに適當かどうか、衞生上害がないか、空氣の容積、便所、臺所等に至る迄詳細に調査し、之れなら差支ないと認むればそれに署名して課長に出す、こゝで始めて課長から許可證が出る。而して更に斯ういふ人達に對しては市の巡回看護婦なる者があつて、絕えず巡回して注意を與へ監督をする。若し發育が惡いとか、養育がよくないとかいふ時には何時でも許可證が取消される、又住宅を移轉する時にはすぐ屆出でねばならぬ、すると囑託者が出張して新しい住居の衞生上の調査をするといふ風になつて居る。斯樣に周密なる兒童の保護法が講せられてゐるから、自然日本のやうに獰惡な貰ひ子殺し、里子虐待といふ樣な事は殆んど耳にしないのである。

○

米國には又嬰兒病院がある。クリーブランドなどには、此病院に特別の看護婦が置いてあつて、若し里子として預けたい人に對しては、安心の出來る里親を探してやる。或は兒童養育の相談所があつて色々の世話や注意をしてゐる。

紐育市の慈善救濟課には親屬課といふものが設けてある、男が私生兒を顧みぬといふ樣な時に女の訴へを聞く處である。充分に探索して吳れる、愈々分らぬ時には保護して吳れる。費府の慈善局には私生子を生んだ母の救濟が講ぜられて居る、ボストンには慈善矯風會といふものが出來て世話をしてゐる。

元來私生兒の保護は胎內にある時からすべきものである、でないと安產をする事も出來ぬ、だから母と共に收容すべきものである。日本には殆んどさういふ組織がないが、紐育には各所に產科院が設けてある、獨逸では產婆學校や病院に於て未婚婦人の妊婦收容をする樣にしてある、市營のものとしてはライプチッヒにある丈である、母は分娩後二ケ年間位育兒院に大概留る事の出來る組織が多い、これはなるべく母親の溫い乳を飲ませんとするにある、母は日中仕事に出て、夜は院に歸つて子供を哺育するやうになつて居る處もある。

男子は、女子の貞操を弄んで、子供が出來ると、自分一人光りの世界に住まんとして、無慘にも女や子供を捨てるのである。捨てた男の憎む可きは元より、捨てられた、呪はれた弱い、女と嬰兒を救ふ道が日本にないのは、事實が少いといふのか、同情の淚がないのであらうか。（文責記者にあり）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

寄書

大正維新は廓清運動にあり

西内天行

大正維新といふことは、能く耳にする言葉であるが、ドウも局部的、部分的の主張が多く、大局から見て徹底した意見を聞くことの尠ないのは、寔に物足らぬ心地がする。予は茲に聊か私見を陳べて見たいと思ふ。

△大詔の煥發を奏請せよ

大正維新は尠くとも四方面から行はれねばならぬ。一は政治の方面である。政黨の墮落は勿論の事であるが、官吏社會の品性なども、餘り高くない風が各方面に立證されてゐる。乃ち政治の局に當る人々の品性が、餘り高くなく潔くないといふのは、軍紀の紊亂と相俟つて、官紀紊亂の根本であらう伊藤公なり、桂公なり偉大なる手腕を持つてゐられたが、ドウも品正の一點に至つては、我等は唾棄しなければならぬ人々であつた。此點に於ては大隈伯の如きは、大に尊敬に値ひすると考へる。桂公歿後の政治は、近來著しく行惱み初めたが、然るに此際品性に於て桂公以上の大隈伯が、新內閣を組織して政治の方面に一新生面を開くことになつたのは、實に慶祝すべき近時の痛快事であると考へる。從つて大隈內閣の使命は、官紀や、軍紀や、黨紀や、民紀が紊亂の極に達してゐる其の根本治療に着眼するにありと信ぜざるを得ない。此の各方面に暴露されてゐる綱紀紊亂の根本問題は、抑も何に基因するのであらう歟。予は種々なる原因を數ふる事が出來るが、家庭道德の根本が確立しないのが、慥に一の原因であると考へる。地方に於ける小役人などの失敗は、悉く禍色の結果である。故に大隈內閣は此際家庭道德の大本を、國民の前に確立して見せる必要がある。日本は元來詔書國であり、他治體であつて、眞の自治體などは藥にしたくとも見られない國である。從つて家庭道德の大本を確立するにも、詔書を煥發して國論を一定するのが、日本の民狀に適する捷徑である。乃ち一夫一婦の大綸を明にしたる、詔書の煥發を奏請して貰ひたいと考へる。

△地久節と一夫一婦主義

第二は社會の方面である。島田會長、安部副長の如き、我邦論壇の猛將が慨然として起つて、先登に進まれるのは寔に心強く感ずる一事である。併し大正維新に於て一の大切なる事は、婦人の位地を、男子と對等に確定することが社會的廓清運動の最大急務であると考へる。我等は一面に於て藝娼營

業の醜惡を攻擊し、一夫一婦制の請願書を議會に提出すると共に、更に模範的に婦人の位置を確定して、男子と對等ならしむる方法はないのであらう歟。予は靜に喜び來りて、矢島老先生等が地久節開始に盡力せられたる如く、此際一步を進めて地久節を日本の公式の休業日となすが故に、議會に建白し、陰に守りつゝある祝日をして、公然地久節祝日として國民全體に敬意を表せしむるを、彼の天長節に對すると同一の心得たらしむるに至らんか、日本に於ける男女對等の位置は先づ模範的に確定することを信ずる。一夫一婦制を議會に建議して、之を通過せしむるにしても、一面には一夫一婦主義を以て、家庭の根本道德たらしむる。家庭廓淸の詔書。煥發を見るに至り、而して更に皇后陛下の地久節祝日を公式に確定したる後ならんか、天下の形勢は全く一變したるを以て、一瀉千里の勢を以て通過するに至る可きを信ぜねばならぬ。

△家風一新の大運動を起せ

第三は家庭の方面である。家庭の廓淸は『日本家庭廓淸會の議』に於て聊か說いたから、別に贅する必要はないが、ドウしても家庭詔書の煥發を俟つて、官公吏、教育家、町村當局者と相提携して家風一新の大運動を初むることが大切である、然らざれば官吏も、教育家も、町村當局者も、仲々動くものではない。彼等を動かさうとするには、ドウしても或る權威が上から天降るにあらざれば駄目である。これ彼等を動かす呼吸のやうであるが、實に困つた連中ではない歟。

△個人の救と聖書

第四は勿論個人の方面で、乃ち一個人の救から初められねばならぬ。救とは外ではない。宗教的、道義的生命を彼等の心に感發せしめて、流動不斷の力たらしむることである。夫には昔日の家庭が論語を權威として尊重したる如く、聖書を家庭の權威たらしめねばならぬ。世の教育家は勅語さへあれば、他に何物も要せぬといふかも知れぬが、併し教育勅語の趣旨を實行する活力を與ふる者は聖書であるから、勅語を尊重する者は、同じく聖書を尊重すべきである。聖書のうちに汪溢する生命が個人各自の心靈に宿る時、陋劣なる品性をも改造することが出來るものである(終)

本會京都支部の大活動

大阪支部の林歌子女史等が、過日の關西聯合婦人大祈禱會席上に於て首唱し、引續き京都にある婦人會中の有力者等が熱心贊成し、遂に原田支部長は奮然陣頭に立たるゝに至り、一大活動を起すべく目下協議中なるが、そは

御大典擧行地たる京都市に於て、公然醜業を市の要部に營ませつゝあるは、一大失態といふべし。殊に京都の地たる教育、宗教、美術、文學の都を以て標榜する所なれば、斷じて廢止乃至移轉を行はざる可からず。

といふにありて、本部役員の入洛を電請し來りたるにつき、德富理事は十三日京都へ出張し謀議を凝らす事となりたり。曾てシコガ市に於ては、大博覽會開催の故を以て、市內より魔窟を一掃したる例すらあり、切に支部員の奮鬪を祈る。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清的思想の發動

東京齒科醫學專門學校學生監　水津謙介

廓清會員として本會に加入せられて居る諸君は、單に社會の廓清すべき事件に對して、廓清會の名義の下に廓清することのみを以て、無論足れりとして居られる諸士では無からうと信ずるから、苟くも會員たり、又廓清會の主義主張に贊成して居る諸君は、自己の業務の傍ら一瞬一時も、この廓清的の態度を崩さないで、家庭にあれば家庭の廓清、學校にあれば學校の廓清、公會堂に入れば、公會堂の廓清、道路に於ても、汽車電車に於ても、目に視るもの、耳に聞くもの、何事によらず、社會に日々生じ來る不正、不德、不義、不滿、不備、不整を原素とする現象に向つて廓清をするやうに努力して貰ひたい。さうなれば廓清會が旗鼓堂々と陣を張つて、出掛けるやうな一大事件も、事を未發に防いで、社會の有謂方面は改善せられるのである。自分の實驗によると、自己の誠意を以て、最も柔和と、親切と尊敬とを拂つて、其廓清的思想を呼び起す事件に向へば、必ず自己の所思を傳達し得ることが出來る、又事件によりては立所に其目的を達する端緒を握ることが出來るものであることを確信した、而して自分では何の利する所もあつてはならぬことは、無論肝要條件である、試に自分が行つて居る方法手段を、茲に掲げて、諸君の參考に供して見やう、それに就いて會員各自の奮勵努力を加へて貰ひたい。

△

電燈會社に發したる手紙、これは少しく自分の恥も晒されば明瞭を缺く恐れがあるから一分四什を話さうと思ふ。

一昨年、月はよく覺えて居ないが、自分は少しく業務上の都合で、毎月仕拂ふべき電燈會社への電燈料が、二ヶ月か三ヶ月か、多分二ヶ月と思ふが、滯拂となつたことがある、すると集金人は再三足を運んだのであるが、全額を仕拂ふことが出來ず、遂に其月の廿五日を以て、又其幾分を仕拂ふべきことを家族が申渡した、所が自分は不在なりしためか、集金に來りたる工夫は、送電を差止むべしとて二階に登り、スヰチを切り、更に二階の押入を一々開いて立去りたりとの家族の報告に接したり。是に於いて、自分は考へた、成程二ヶ月の滯拂は自己の不始末より起つたことなれども、こは大いに天下國家のため、電燈會社に向つて幾分の注意を惹起さしめざればとて、直ちに一通の書信を認め、營業課長に送りたり。翌日直ちに課長の命なりとて送電をはじめ、且つ課長代理は自宅を訪問して解決を得たのであつた、其手紙の要領は、

東京電燈會社の電燈使用者は、營業上より觀察する場合は顧客である故に、假令滯拂の料金あるとも、他人の家庭に入りて無斷押入等を開きて取調べをなすの權能なし、然るに稅金の未納に對する國權を行ふ當該官吏の如き態度あるは、商業を無視するものなること、又電燈會社の如きは、單に營利を目的とする一商店にあらず、苟くも社會國家公衆の自然的慾望を果すべき燈火又原動力等に用ひる電氣を送附する上に於ては、既に公共的事業であることを認めればならぬ、然るに僅に二三ヶ月の料金滯拂を以て直ちに送電を差止

めしむるは、公共的性質を帯ぶる電燈事業經營者として更に價値の認むべきものなし、何ぜなれば一家計を立つる國民の中には、如何なる事情の下に滯拂をなしたるか、又使用者が如何なる申立をなして支拂はざるかをも調査し且つ使用者の職業、身分、其他充分なる調査をなしたる上ならずして、一商人が掛金の多きため、物品の搬入を見合はすと同様なる所置を取るは、甚だ以て公共的性質を帯ぶる電燈會社の採るべき手段にあらず、若しそれ原動力等に使用するものなりとせば、直ちに社會の殖產的事業に影響を及ぼし、延いて國家の盛衰にも關することである。

故に會社は使用者が惡意に於て滯拂するか、又は不可能なるために滯拂するか等の調査の結果によりて、所決すべきものである、然るに自分は何等の惡意がない、又二三ヶ月の後には滯拂せる料金の仕拂に決して不可能でもない唯單に一時的事故を起したに過ぎない。

野依秀一君が電燈會社の攻擊などをも、彼れは他に爲めにする所があるとしても、斯くの如き經營振、しかも公共的性質を無視したる會社の行爲があるとならば、野依君に加擔するものが多く、會社の信用は高まるべき時はない。電燈會社の横暴など時折耳にするは、其局に當るもの〻頭腦の足らざる所より起るもの、課長閣下は固より英明ならむも、吾人は斯くの如き會社の一日も存在を許容することは出來ぬ。

と斯ういふ意味のものであつたのである、又た東京瓦斯會社に發したるものも、斯くの如き意味で、何れも解決せられたのである、唯瓦斯會社の方は二ヶ月の滯拂を仕拂ひたる後に於てすべしといひ、自分は瓦斯の供給をなしたる後に於てすといふに止まり其儘となつて居る。話は少し横道に入いるが、瓦斯は可成使用しない方が今日の一般經濟狀態に於ては利益である。瓦斯があると丁度電車の回數劵を買つたのと同じで、雇人は無論、子供までが矢鱈に使用するから、非常に使用料が入つて不經濟だ、其の費用で他の利益あるものに用ひる方が注意深い人間のすることである。但し燈火は瓦斯の方が經濟かも知れないが、瓦斯の使用に注意がないと、寧ろ使用せぬ方が利巧である。瓦斯にしても電氣にしても、他に代用するものがないときは仕方がないが、炊事用などは瓦斯の必要が殆んどない、雇人などのある家は殊にさうで手を足すために多くの人を使ふのだから、手を省く場合は格別であるけれども、あまり經濟なものではない、故に同時に自分は炊事には瓦斯を使用せぬことにした。

△

電車や汽車に乘つて、滿員の場合などに、兎角乘方に馴れて居ない爲めであらう、自身丈の位置を守つて、人の入いる場所があつても平氣な人がある。これは乘客の罪でない、乘客の方は、電車だの、汽車だのいふものは、皆明治時代に輸入されたものであるから、乘り方などは研究が行き屆いて居ない、經驗もないものが多いのであるから、車掌や運轉手などが、よく手を取るやうにして、乘客に乘方や心得を敎へるがよい。敎へるといへば、語弊があるといふなら、今少し世話をやけばよいのだ、唯口の先きで、やれ前へだの、後へだのいつた所で、多數の人だから誰れにいふのか更に解らない隨つて誰れも動きもせぬ、聲の枯れる程叫んだ所で其效果は上らない。故に自分はボギー車列車などに乘つては、車掌に暇があるから、直接車掌に注意を與へるが常である。けれども不心得の車掌は更に聞入れないのがある、これは當局者の不注意であると思ふ、乘客が親切に其職務の缺陷を注意して

やるのも、皆公德的思想の溢れたので、自分ではこれも廓清的思想の發動だと心得て居る。

△

次には小賣商店にあることで、これも廓清してやらねばならぬ事件が澤山有るが、自分は其の中の一つを擧げて見やう、それは三河屋といふ麵麭屋であつた、箱入りの西洋菓子箱で嚴封したものを知人が買つて、自分に呉れたのであるが、折惡しく其箱を開いて菓子を出したときに、其贈與者が來て居たので、發見されたことがある。其箱中のバナ、の菓子は、乾燥して堅くなり、砂糖は解けて包紙に浸み渡つて居た、これを見た知人は、これは不都合だと、大いに怒つたが仕方がない、所で自分はさういふた、決して一個人のためでない大いに三河屋に現品を持參して忠告せよといふと、其人は直ちに三河屋へ持參した所が、同店に於いては主人夫婦が出て大いに其の不正品に對して申譯をして、他の精良な菓子と取換へたのであるが、堂々たる三河屋にしてかくの如きである況んや其以下の信用を輕んずる小商店は、推して知ることが出來る。又購求者も世間に度々あることだと思ふが、かゝる弊害も大いに廓清せねば、いつやむ時はないので、自分は其知人をして反省せしめた譯である。岡野などいふ菓子屋や、森永などいふ大商店の目標あるものでも、かやうな不正があつたことは實驗したのである。岡野などは有るべき箇所に、其品を省いて、表面丈を蔽ひ、そして箱に充滿されたつもりで、購求者に賣つて居るものと見える、有名なる岡野も、茲に於て信用が出來ないのである。風月が賣り渡し月日を記入するのがあるが、あれはよほど善いことである。諸君よ商人は決して信用してはならぬ、物質本位のために購買者を瞞著すること斯の如き故に、必ず嚴封したる折詰などは、如何なる大商店のペーパーありといへども、これを信用してはならぬ。同時に菓子許りでなく、小賣商人に望むのは、かゝる不正な思想を根底から廓清するやうにせねばならぬ、然らざれば贈品として贈與を受けたる者は其贈與者に對して惡感を惹起せしめぬと限らぬ。どうか吾が親愛する廓清會員諸君は、他人の缺點を發く意味でなく、公衆のため、不正社會廓清のため、最も親切に最も柔和に、利害得失を論じて、何事でも廓清をして貰ひたいのが、自分の希望であるのである。

名古屋旭廓連の大運動

名古屋遊廓移轉問題より、一世を騷す程の大疑獄起り、未だに係爭中なるは讀者の知らるゝ通りなるが、其後旭廓の連中は此疑獄を奇貨とし、極力禁止命令撤廢運動を試み、前内閣當時略岡野警保局長の内諾を得たるの噂ありしが、内閣更迭して名古屋出身の大臣を出し、且つ現市長阪本釤之助氏は曾て福井縣知事時代現警保局長安河内氏が同縣警部長として市長の部下たりし關係あり、旁々運動有望なるべしと思惟し十五日地方官會議列席の爲め松井知事の上京を機とし、遊廓幹部連を初め鈴木摠兵衛(商業會議所會頭)磯貝浩(市會議員)村瀨健次郎(同上)水野寅吉(代議士)村手健次郎(市會議員)の諸氏及樓主數名相前後して上京し、京橋區木挽町有明館に宿泊猛烈なる運動を開始せるやの風說あり、されど廓清會顧問たる大隈伯が首相たり内相たる今日に於ては、彼等の狂奔も結局無効に終るべく、本會に於ても極力これを妨止すべし。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

社會

白十字會の事業

横山栖雲

△其創立

明治天皇が登極第四十四年の紀元節に、時の内閣總理大臣桂侯爵を御前に召され恐れ多くも庶民濟生の聖詔を下し給ひ、其資金として内帑の金壹百萬圓を御下賜あらせられ、桂總理大臣は聖旨を奉戴し民間よりも資金を募り、濟生會の成立を見るに至つたが、其聖勅を拜讀したる在京の醫を業とする者十八名は、斯かる事業こそ微臣等の奮つて從事する事なるべきを思ひ、先傳染性病毒中最も廣く蔓延し年々十餘萬の帝國臣民が犧牲となりつゝある結核病者を救濟し、該病を撲滅するを目的とし、白十字會なる者を組織したのである。其後になつて會員も漸く增加し、基本金を寄贈する有志も出來て、其年の十月二十日に内務大臣の許可を得て、社團法人と爲つた。其より男爵石黑忠悳、男爵醫學博士佐藤進、醫學博士北里柴三郎氏を顧問に戴き、江原素六氏を會長とし外に理事十名、監事三名、評議員卅名を選んで會が成立した。

△其事業

其事業の第一著手として、結核豫防及び治療に關する智識の普及を圖るために創立の年の八月に『白十字』と題する機關雜誌を發行した。月刊で今日まで號を重ぬる事三十六號、發行の部數は最初より總計十五萬以上に達した。又米國紐育市廳で編纂した小學兒童用の「結核問答」と外一冊を極めて通俗的の文字に譯し、之を學童及び一般の家庭に配布した其數は合數五萬七千冊に及んだのである。

第二の働きとして、公開の通俗講演會を催し、幻燈等を用ゐて平易に結核の病因、其傳染の徑路、豫防及び治療方法等を說明する事を始めたが、地方よりも出張講演を求むるもの往々ありとの事で、將來甚だ有望となつた。

それから實地治療救濟の方面として、『早朝診斷所』を開設した。そは結核病なるものは他の急性病の如く著しき症狀を顯はさず、極めて緩漫なる經過を取るもので、其初期の治療を等閑に附するものが多いから、少しにても身體に異狀を感ずる人々を無料にて診察し、若結核の初期なることを發見せば、之に適當の療養を指示するのは、その效驗、顯著なるものがあるので、此の早朝診斷所を設けたので、明治四十五年三月創立以來受診の人員二千二百五十餘名に達し、益々不足を感ずるので大正三年に於て更に三ケ所を增設することに決し、追々其實行を見るに至る筈である。

又輕症患者で轉地療養の必要あるものがあつても、未だ

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

官公設の療養所はなく私設の療養所に入るには其だけの資力のない人が多いので、此等の人々の爲に相州鎌倉七里濱の勝地にある惠風園と協約し、三十名を限り患者を委託し、毎月二回本部より理事が出張して之を診察する事になつて居る惠風園主の中村春次郎氏も全然營利的の觀念を去つて、一意專心白十字會の爲に盡力して居らるゝので人員は未だ少數に過ぎざれども、其成績は頗る良好である。最初より今日までの入園患者は合計一百六十七名で、内全治四十九名輕快となれるもの六十五名、現在入園者十九名である。是は入園療養料として患者より全くの實費を徵集して居るが、最下等の入園料が一日金八拾錢であると聞いた。若も白十字會の資力が非常に裕かであるならば、獨立の療養所を造り、無資力者をば全然無料にて入院療養せしめたいのであるが、未だ其程度に達しないのは遺憾とする所であると役員の一人は語つた。

東京市の勞働者間の結核病患者に就ては濟生會其他の救療所にても、到底遺漏なく之を救療し、且つ之が漫延を豫防する事は尤も困難なる事である。由て白十字會にては東京市中及び接續せる郡部の各町村の主要なる所に特志の開業醫及び藥劑士と協議し、之に白十字會の救療員たることを囑託し無資力の患者を無料にて診察し、且つ藥代も無料にて投藥することにして居る。其救療員の數は現在一百六十五名で、投藥を受けたる患者の總數は二千六百八十一名、投藥日數は四萬九千二百を算するとの事である。私が知つて居る或勞働者の如きも、私が勸めて白十字會の診療を受けしめたことがある。結核症も第二期になつて居たとの事であるが、追々全快し今日では平生と異らぬ。此外私が勸めて診療を受けしめた者は澤山あるが皆成績がよいので非常に喜んで居る。

△其經營方針

白十字社の經營の方針は世の事業者の如く先づ資金を得て然る後に事業に著手すると云ふ普通の方法によらず、先づ事業の實績を示さば隨つて資金の助力を得べしとの信仰を以て進行しつゝあるので、資產の貧弱なるに似ず、事業の大に見るべきものがある樣になつた。基本金としては僅々四百圓に過ぎず、創立以來の寄附金、雜收入等を併せて七千七百二十五圓餘のみである。されど大正二年末に於ては金七百圓餘を次年度に繰り越したのである。

又白十字會はどこまでも結核豫防の傍ら貧者又は全く貧困者の伴侶となり、之を慰安し、之を治療せしむるを以て目的とせるが爲に、其手續は甚だ簡易で、證明又は紹介等の煩瑣なることはない。然し斯くては世の狡猾なる者が貧者、貧困者なりと詐り來る恐れあれども、一二の背德者を豫防せんとして、多數の患者に迷惑を與ふるに忍びず、何事も善意に解釋して、世の薄命者を慰藉するを任として居る。之れ白十字會が普通一般の施療施診などゝ異つて居る特色である。吾人は同會が益々發展するを希望すると共に、世の慈善家が同會の爲に一臂の援助を與へられんことを勸めるのである。

（白十字會の事務所は東京市本郷區本郷二の三十六にあり、）

家庭

婦人と常識

東京高等女學校長　棚橋絢子

常識とは普通一般の事を知る事である何でもないやうですが實は六ケ敷い事は却つて出來るが、易しい事は反對に出來難い、親に孝行するといへば何でもない什麼事は云ふて貰はんでもと思はれませうけれど、さてしやうとなると中々六ケ敷い。學者必ずしも常識に富まない、學問が出來ても常識に乏しい人はいくらもあります。藝術に達して居る人とてもさうである。反對にまた學問はなくとも常識に富んだ人がある、これはどうしても身體と精神のやう、双方相俟つて全きを得るものであります。ですから昔より中庸を尊んだ、中庸といふ語の解釋は非常に六ケ敷いが、中はかたよらないといふ事で、不偏之を中と申し、不易之れを庸と申します。中は天下の正道なり、庸者天下の定道なりと申してあります。

要するに偏頗のないやうにする事が大切であります。婦人に對して特に之れを逃べんと致しますのは、常識に富んで居らぬから動もすると婦人はヒステリーに陷る、肝癪持だとか何だとか申しますのは皆此の偏の致す處で御座います。ヒステリーと申すのは誠に困つたもので、眞心を以て言つてもいや斯うだらうとか彼あだらうとか考へて、此方の心が通らない、妙な處に理窟をつけて、拗ねた考へを致します。

人は假令惡意に申しましても素直に善意に常に解釋して行けるやうにして行かねばいけませぬ。これは自分自らを煩悶より救ひ、光風霽月の中に住ませる大切な方法であります。心持がよくないものは人に與へぬやうにし、嬉しかつたと思つたら人に與へるがよい、夫子の道は忠恕のみと申します。

△

學者や藝術家は世の中に持て囃されると充分に修養が出來て居ない人はすぐ鼻にかける。私の知合の學者さんは、學問はよくお出來なさるが常識が缺けて居るから世の中から用ひられぬ。女は皆奇麗に髮を結ひます、女としてはそれが宜敷いのですが、學問をする人はどうでもいゝ、頭も蓬々雀の巣のやう、風呂にもいつ這入つたか分らぬ、頸筋は眞黒け、側によると臭い……這麼人は決して感心すべきではありません。私などは毎日缺風呂へ這入りますが、或る學校を出た方で學問は誠によくお出來なさる方が教員御志望でしたが、頭は蓬々、着物は垢塗れでしたから、這麼方に大切な教育を願ふ譯に參らず、お氣の毒ながらお斷りする外はなかつた事もあります。私などは學問はなく、何も取柄がございませんから、せめて垢だけでも洗つて人に不快な感情を與へさせまいと思つて居ります。清潔にするといふ事と美を守る――虚飾は勿論いけません――といふ事は常識ある人の當然の勸めであります。それもぐつと拔け出して紫式部や和泉式部などの

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

やうに、一世を壓倒する程の方々はまだ結構ですが、世の中にはさう偉人といふものはあるものではございません。常人が世の中に出やうといふには、どうしても圓滿であらねばなりませぬ。然るに常識の缺乏した人のする事は乾度角張つて居ります。不誠實に見えます、尊大に構へて居るやうに見える。さうすると自然世の中から遠けられるやうになるのです人が用ひなければ如何に學問技藝に秀でゝも如何とも致方がございません、茲に世に處する必要といふ者があるのです。

△

常識の養成は如何にすればよいか、多くの人に交り、多くの事柄に當るより外はない、そしてそれに馴れ、其智識の應用から段々發達されて行く者で有ます。

私は七十四歳で繪のお稽古を始めました、八十の手習にはまだ六つ若う御座います。隨分元氣でしやう、愚圖々々して居ると負けますよ、私は人が見える毎にいゝ、ひよこ〳〵してゐる繪を出して見せまする、と誰方も屹度お笑ひになります。見せさへすれば笑ふ、愛嬌の爲めに稽古してゐるやうです、中には大層お上手にお成りになりましたと仰つて下さる方がありますが、それは嘘です、下手にはならぬかも知れませんが何しろ七十四ですもの、先づ上達の見込は餘程覺束なうございます、たゞ私は若い方々を勵ます爲に致して居るのです。既う明日さへ知らぬ年齢です、能く續けるやうになつたとしましても用ふ時は少うございます。

けれども藝は道によつて賢しと申し、之れによつて他に色々の智識を得る事になりました。手は上りませぬが人樣のを拜見する時に注意力があるやうになりました。今日迄は掛物がある、たゞいゝ筆だと思ふ、それが今では多少の鑑識眼が具はり、趣味が非常に出て、其筆勢を覺えて家に歸りて眞似て見たり致します。

常識の養成はかやうに行つて見なければ分りませぬ。今日の下婢は、學校を卒業した奧樣に仕へるのが一番厭だと申します。女學校出の奧さんに仕へると頭ごなしに馬鹿だと仰しやる。自分が出來るから出來ない者を見ると愚鈍にも見えませう、けれども至らぬ處があればこそ人の下女となつて居るのですもの。下女になつてやらなければ下女は使へません、或は下女などに物を聞いたりするのは厭です、私は優等生だわなどゝ濟まして居ては下女は使へません。

支那の禹王は下問を恥ぢなかつた賢君であります。下女にお前はどう思ふかれといふ風にして、下情を知らなければいけませぬ、織田信長は不世出の英雄でありましたが、如何にも大名式で一本調子で下情に通じなかつたから思ひやりがなく、終に非業の死を遂げられました。それに反し徳川氏は一城の主ながら、少い時から人質などに參られ、具さに辛酸を嘗め、樣々の境遇に遭はれましたから隨分豐臣家に對しては酷い人だと思ひますが、三百年も續いたのは全く下情に通じ、人の心を察して忠恕の心があつたからです。

△

すべて何事も、觸れたこと當つた事を稽古して行く、といふ風にすれば常識を作る元になり、精神の修養鍛練になります。婦人は必ずお嫁に行かなければなりませぬが、兎角お嫁さんと姑さんとは仲が惡い、殊に此頃の若い方は勢が強く、年寄りに折れる事もしませぬ、けれども又た汝に出づるものは汝に返ると申します、姑に對しましても、此方から優しくすれば姑も優しくなります。年寄りといふものは少し可愛がられますと非常に嬉しいものです、天に向つて唾をすれば自分にかゝる。姑に優しくされるのも酷められるのも、多くは自ら招くのであると申して宜からうと思ひます。常識の發達は人を圓滿にし、幸福を來らせるものでございます。(在文責記者)

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

「ヒロシハシニマシタ」

しをん

私は醫者の妻で御座いますが、夫の不身持ちのために、ありとあらゆる苦痛を味ひ、つひに堪へきれず身を投げやうとした時に、思ひも掛けぬ方に救はれ、只今此家に身を寄せて居るもので御座います。さうして貴い御誌(十二月號)をも見せて頂きました。未だ御目にかゝらぬ御許様ながら、打明けて聞いて頂きたいとおなつかしさの餘り、まはらぬ筆を執つた次第で御座います。

夫は三十八年に東京の醫學校を卒業して或病院に勤めて居りましたが、四年の後に南國の或町に開業いたしました。知人とては私の兄が家を持つて居りますばかり、初めは何うかと存じましたが、心配した程でもなく、患者も澤山ありますし、だん／＼優しいよいお醫者樣と云ふので町中に知られました。夫自らも「僕は往診に行つても、診察ばかりで歸る氣になれない、何か世話をして來なければ」と云つて笑つて居ました。人樣からも羨まれるやうな温い家庭を作り、看護婦も下女も車夫までも、一生使つて頂くなどゝ云つてくれるのでありました。

家中が活き／＼と、望みを以て無事に暮した二年は夢のやうに過ぎ去つて、三年目の春のことで御座いました。一人の母親らしい人が來て「娘がひどいヒステリーに罹つて居ます、どうか見てやつて下さいませ、少しでも快くして下さいましたら、どんなに嬉しいでせう」と申して頼みに參りました。夫はこの時から毎月往診に參ることになりました。此娘はすがゑ(假名)と申して或旅館の娘でした。主人が參り初めてから、目に見えて快くなつて、最早殆ど全快と云ふ位になつて居るのに、夜となく晝となく呼びに來ます。それのみならず、其處に行くと四時間も五時間も歸りませず車夫を先きに歸宅させることも度々御座います。變だとは思ひましたが、夫に限つてと、疑ふ自分の心を責めて居ました。夜分など病人が澤山參りますので、歸つた車夫をまた呼びにやる樣なこともありました。

かれこれして居る中に、私は婦人病に罹りまして、京都の大學病院で手術を受けることになり、子供の事、家の事、それに主人の近頃の樣子も氣にかけながら、二人の子供は兄の許に居る母に頼んで入院いたしました。一ケ月餘りで歸宅致しました所、先生は奥樣の御不在中に、時々此方にお歸り遊ばすばかり、ピッタリ彼のすがゑの所においでゝしたと、留守の人達は申します。これまで一夜も家をあけたことのない主人がかくまでになつたとは、私の驚きはどんなでありましたらう。それでもまだ幾分か信じられぬ樣な氣もして、早速使をやつて私が歸宅したと告げさせました處、すぐ歸宅してはくれましたが、今まで一滴も呑んだことのない酒の香がいたしますばかりか「目出度い／＼、酒だ／＼」と申して聞きません。外聞もありますので人を酒屋に走らせて、肴を運ぶと、病人の私にまで進めると云ふ始末、さうして十分も經たない中に「ア、家の酒は旨くない、オイ市松(車夫の名)車の用意だ」と、止めるのを振り切つて出て行つて仕舞ひました。見送つた私はあれが夫であらうかとたゞ夢のやうに思ひました。何時來ても留守と云ふので、患者は次第に少くなり、新聞には恥しい噂が出ると云ふやうな譯、やけになつたのでせうたまに家に歸つてもすがゑの名のみ申し、狂人かと思ふやうでした。子供には知られぬ樣にと努めて居りましたが、長男の方は殊に氣の付く方でしたから、早くも父の目に餘る仕業を知つて、私の心をも思ひやる樣になりました。或時も妹に「お前玄關の向ふに居れ、僕はこゝに居て、父さんら打つて泣きついてやる」などと云つて居の中に、長男はいよいよ入學の年になりまし、師範の附屬校に入れてやらうと存じ、子供も附屬でなければいやだと申し試驗を受けさせました所、身體も丈夫、いろ／＼のお尋ねに對しても、答は充分によく出來ましたのに、家庭と云ふことに重きを置くその校では、入學を許されませんでした。これも父親の罪のためです。子供はそんなこととは知りませず、來年こそは二年の補缺に入るのだと、一生懸命勉強して居りました。次の學期の來るまでに、何うして子供に受驗を思ひ切らしたものであらうと、それのみ苦勞にして居りましたが、今はもう子供のために何事も思ふ必要がなくなりました。

其の後世間に父の事がいよ／＼知れ渡るやうになつてから、子供はちつとも門外に出ないので御座ます。妹が出たがりますと「餘所のおぢさんやおばさんが父さんのこと聞くからおよし」と申して、機嫌をとりとり家の中で遊ばして居ます。夫の方は、それらのことにも容赦なく、とう／＼別宅を構へて、すがゑを圍ゐました。友人が泣いて忠告して下さるのも聞かず、子供の血の涙の出るやうないぢらしい心配も知らぬ顔して、すがゑと連れ立つて諸々方々と歩くので御座いま

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

す。出入る患者は全く絶えはて、月末には茶屋小屋のかけ取りばかり、入り代り立ち代り玄關に立つので御座います。やむを得ぬ車夫のみ殘して、下女は知人に看護婦は病院へ世話をして暇をやりました。何時の間にか主人は家財をすつかり抵當に入れてお金を借りて居ます。何うにかして元の人にと努めても祈つても甲斐はなく、叉々他の女にも手を出すと云ふ、まるで無茶苦茶な始末で御座います。

　私共の裏庭はお向のお宅の畑になつて居ますので、子供は何時も其處で遊んで居ました、或日のこと、夕飯になつても歸りません。いつかも父さんを迎へに行くのだと云つて、道に迷つて居たことがありましたから、車夫を見にやりました。私はひとり心配して暮れ方の緣先に立つて居ましたが、フト何氣なく子供の机の上を見ました。そして片假名で、何か書いてあるのに氣が付きました。

「オカアサン、ヒロシハシニマシタ、オトウサンノカヘルヨウニ」

　この瞬間に、私の心に閃いたのは裏庭の井戸でした私は夢中に驅けだして、不思議な力に引かれながら井戸側に立ちました。覗かうとする時の恐ろしい氣持ちが、すぐに驚きと絶望に變つたのです。可愛い二人の子供が重なり合つて私の目に映つた刹那を、私はたゞ覺えてゐるばかりです。

　さすがに惡魔のやうな夫も、一掬の熱い涙と共にすがゑとも切れて仕舞ひました。一度世に知られた罪の報いは何處までもついて廻ります。わが罪のために子供を死なせたと云ふことを悟つた夫は、殆んど病人のやうに沈んで居りました。子供の死んでくれたのも私共のためです。以後は前にもまして働きませうと、ひたすら勵まして、ヤツと或病院に勤めることになりました。車夫にも暇をやり、小さな家に移つて總ての仕末を付けたのです。其時私は姙娠して居りました。死んだ子が生れるのであらうと、主人も喜んでくれましたが、明日から病院に出ると云ふ前の日、友人の許までと云つて出たぎり、夜になつても翌る朝になつても歸りません。悲しみの餘り、叉とりかへしのつかぬ事にでもなつたのかと心配してゐると、一寸夕方歸つて來まして、「お前淋しければ兄樣の處へでも行つてくれ」と申して、何の言葉を交す間もなく、また出て行きました。アヽ悔い改めたのは束の間の夢であつたのです出合がしらに、すがゑに遇つた夫は、再び彼の強い誘惑にかゝつたのだと云ふことが知れました。幾日待つても幾夜經つても何の便りもありません、仕方なく兄の家に身を寄せましたが、何の不幸か、兄も放蕩に身を持ち崩し、老いたる母とやつれたる嫂とが、他所の針仕事をして細々暮して居ます。兄の名を呼んでは私の顏を見、私の顏を見ては涙を流す、哀れな母を見るに忍びず、お腹の子は心配の餘り流產に終りますし、つひフラ〳〵と身を投げて仕舞はうとしたのでした。幸か不幸か救はれて、また〳〵生きればならぬ身になりました。救つて下すつた方は耶蘇信者なのです。

　若しも夫が覺めて歸つた曉には、私より外に頼る者はないからと、辛くも望を持つて日を送つて居ります。

岡山遊廓の妄狀

有無生

　小弟先日讃岐地方に參り、歸途岡山遊廓を視察致し候間御參考迄に左に申上候。

　去る四日午後七時廿分發之列車宇野驛を發し、九時岡山に着致しましたから、十二時の上り迄には三時間許り御座いますので、其時間を以て廓清會の御參考にも相成る事も有うかと、東中島町に視察に參りました。第一に驚たのは入口の左側の「中民」と申樓より二人の女が出來り、左右より手を取り引入れんと致ました、ヨウ〳〵振拂て進で參りますれば何れよりか一人二人の女出來り、誘拐甚敷には實に身の毛のよだつ斗りに御座りました。取分甚敷は突當りより左に曲り「加美左」と申店の前に參りますと、二十二三歳の女が突如行手をふさぎ、内より四十歳位の女が出來り無理無體に引込、尙張店を致て居りました娼妓迄出來り三人にて引上んと努め、或は持物をうばひ其有樣は大正の今日中國有數之地なる岡山市に有べき事かと、何人と申共其現場を見ませんなれば言葉や筆で見聞した位ゐでは信じ得ざる有樣で御座りました。キリスト信者で且つ廓清會の會員たる小生なればこそ、若未信者にして廓清會の會員ならざる者なれば、不義と知りつゝ罪惡と思ひつゝも、其毒手にかゝるは火を見るより明ならんと感じました。から、小弟は廓清會の會員たる事を演べ、公娼の不德と廓清會の主義とを話し致ましたなれ共、彼等はそれを聞分る耳はなく、只登樓させんと努る熱心には驚入ました。我等も善を勸めるに彼等程熱心になり度者と思ひました。時間參つたので急で驛に出ましたが、途中思ひ浮びたるは或人々の要求を滿す爲に公娼の必要を說く先生等の說は屢々伺ひましたが、市中を通行致居りました人々を無理に引込でまでも要求を滿しむる必要が有であらうか若し彼等が公娼でなくば晝をあざむく市内に於て、斯く多數の女が列をなして人々を引張る程なるは御座いますまいと存じました。それより驚きたる日比（備前の小港）の如きは、未だに夕方より小舟に多數の娼妓が乘込み、沖に碇泊致て居る舟に自から强賣に出かけ居ります。何と驚かざるを得ないでは御座いませんか。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

雜誌の雜誌

（○宗教）

地方教役者諸氏に望む

基督教世界社說

吾人は今日の悲むべき狀態より地方の傳道を救ふべき一策として、茲に敢て地方教役者諸氏に望むべき一事がある。それは他にあらず、諸氏が直接傳道の餘暇を以て、何か一つの專門的智識もしくは技能を磨くべき事である。是れ何人にも望み得べき事であつて、殊に孰れかと云へば比較的に勉強の餘暇あるべしと思はるゝ地方教役者に取りては、決して至難の事ではない。

專門的研究の題目は決して廣汎なるを須ひぬ。それは極めて狹き範圍にて充分である。例へば聖書の研究にしても、或は舊約全書を專門とし、或は新約全書を專門とし、或は其中の一卷を取り、一教理を撰ぶ等、悉く其人の隨意である。又彼の日曜學校問題の如き、祈禱會問題の如き、教會音樂の問題の如き、婦人會、青年會等の問題の如き、何れも一個の專門的研究を試むべき充分の價値がある。更に又社會問題として 矯風問題あり慈善問題あり若くは兩性問題あり。文學の方面に於ては單に—ミルトンの研究に於ても、トルストイの研究に於ても、イブセン、メーテルリンクの研究に於ても、皆是れ專門的研究を値するものならざるはない。更に又東西思想の統一の如き、基督教の立場よりしたる佛教儒教の研究の如き、或は教派合同の問題や世界平和の問題の如き、皆此れ生涯の專門的研究の好個の題目である。吾人は今一々此等の問題を列擧するの暇はない、寧ろ之を諸氏の選擇に一任せるの勝れるを見るのである。之を要するに、是等無數の大小問題中の唯だ一つにても、眞に之が專門家たるの榮譽を荷なふに於ては、獨り其人の地位を高め重きを社會になすのみではなく、爲めに基督教界全體の聲價を高め其內容を豐富にする事、今日に幾倍するやも知れないのである。獨り地方傳道上に夫々の特長を發揮して益々新生面を開拓し行くを得るのみならず、及ぼして全國の教勢を振興せしむる決して難くはない。今日基督教界の短所の一は、各々特長を以て世に立つ專門家の缺乏せる事である。所謂團栗の丈較べは吾人の取らざる所である。專門家出でよ、特長ある教役者出でよ、而して其專問の智識才能をして悉く主の榮光を顯揚するものたらしめよ。日本の基督教會は慥に之を要求する時代となつて居る。

傍若無人論

永井柳太郎

英雄は多角形な者である。我等は富士山の眞相を識らんとせば駿州三保の松原で見るのみならず、信州諏訪の湖畔で眺むる必要が有る。單に靖國神社の社頭で望む許りで無く、に之を大平洋上雲霧の間より眺むる必要がある。英雄も各方面より觀なければ其眞相は解らない。シイザアは卓越せる政治家のみならず建築家數學家又文章家であつた。ルビコンに鞭を擧げた彼を知つて月明の夜ライン河畔で紀行文を綴つた彼を認めれば、未だ彼シイザアを解する事は出來ない。ビイコンスフイルドは一代の外交家のみならず優秀なる小說家であつた。伯林會議に英國の運命を荷ふた彼を觀るとも小說『エンデミオン』に筆を染めた彼を識られば、彼ビーコンスフイルドが解つたとは謂へない。

斯くの如く耶蘇も各方面より觀なければ眞に彼耶蘇其人を識る事は出來ない。現今の基督教會が專ら柔和に滿ちた耶蘇のみを說き且基督信徒の大半が女性である事を見て、耶蘇を綿羊の如き柔和一方の人と思ふのは大なる誤解である。耶蘇には獅子の如き勇猛力が有つた。彼は『噫なんぢら禍なる哉僞善なる學者とパリサイの人よ爾曹は白く塗りたる墓に似たり外は美しく見ゆれ共內は骸骨と諸の汚穢にて充つ、此の如く爾曹もまた外は義く人に見れども內は僞善と不法にて充』と痛罵し『地に泰平を出さん爲に我來れりと意なかれ泰平を出さんとに非ず刃を出さん爲に來れり、夫わが來るは人を其父に背かせ女を其母に背かせ嫁を其姑に背かせんが爲なり』と宣言した。天下に之程傍若無人の言が有らう乎。見る可し綿羊の如く柔和は耶蘇は又獅子の如き勇者なる事を。耶蘇の裡に有る傍若無人の思

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

想を見ない者は、未だ耶蘇其人の眞相を識らない者である。(護教)

○思想界

オイケンとベルグソンとヘツケル
文學博士　井上哲次郎

オイケンとベルグソンとを比較して見るにベルクソンは刹那主義に陷りて無目的となつて居るがオイケンは固より理想とする大目的がある、それからベルクソンは自然科學の材料を採用して段々と自然科學以上の哲學を說き生命の本質は自然科學の如き分解的智識に依つて、到着する事は出來ない、寧ろ直觀によつて本質の本質たる所以を認むべしと說いて居るがオイケンのやうに不可不を主として居るのでなく何處迄も說明的に進行して居る然し又一方から云ふと意志は自由にして創造的なりと認め、自然天然を超絕し自然科學以上に超物理學の範圍を開拓して出て來て居る。即ち主張する所は共に創造の哲學である。次に兩者共靜的態度でなく動的態度で有る。

△ヘツケルと比較　然るにオイケンはベルクソンの如く餘り自然科學に觸れないで別な方面から其以上の精神上の事實を力說するので有る、優美な高尙な思想に富める彼の著述は精神修養には最も適當なる哲學では有る、さうして何うも哲學宗敎倫理の三者を合一していたやうな趣がある。今は故人となつた伯林大學のパウルゼンは彼と略同樣の傾向を持つて居た人で有るオイケンが長く敎授をして居るのはイエナ大學で有るが此大學にはヘツケル氏が長く敎授をして居つた、此人は獨逸に於て率先して近代論を唱へた人で、自然科學萬能主義を懷き凡て精神界の事でも何でも自然科學で說明しやうとした極端なる獨斷的學者で有るが此二人を比較して見ると非常に面白い。

△ヘツケルと正反對　ヘツケルとオイケンとは兩極端で有る、ヘツケルは物質主義の極端論者でオイケンは精神主義の極端論者でヘツケルを北極とすればオイケンは南極で有る。曾てヘツケル自身オイケンを許した言葉に反對極と云つた事が有るが眞に其通りで有る、オイケンも勿論極端だと思はれるが彼の主張は生溫かいものではいけない尋常一樣の事では刺戟劑とならないと云ふので、殊に時勢を超脫して極端なる精神主義を標榜し、强大なる印象を世界に與へようとして居る、彼の學說が次第に高調し來つた一つの原因は彼が最も痛切に感じたと思はれる同じ大學のヘツケルの極端なる物質主義の哲學であらう。(道の友)

近代生活の特色
法學士　鈴木文治

近代生活の特色とは何ぞや、曰く個人主義、此一言を以て足る。勞働問題も、婦人問題も、普通選擧の運動　憲政擁護の運動も皆此潮流に棹せるものに外ならず、予は現代の各種各方面の現象を見る每に燒印の如く鮮かに此特色を見る。個人主義其者とは、通常全く正反對の主義の如く考察せらるゝ社會主義と雖も、少くとも近代的社會主義は個人無視の社會本位主義に非ずして、個人的社會主義、若くは個人本位の社會主義、言ふべくんば社會的個人主義である。更に彼の國家主義なるものに就て見るも、上古の國家主義—例へば希臘の如き—は、國家の爲めの國家主義にして、國家の發達利益の爲めには、個人を犧牲として毫末も悔ゆる所がなかつたのである。然るに近代の國家主義は、寧ろ個人の爲の國家主義なりと言つてよい。苟くも個人を無視し、個人の發達を顧みざるが如き國家主義は、彼の狂暴なる軍國主義者にあらざれば、之をよしとする者がない。則ち近代の國家主義は、個人—國民—の防護機關、個人—國民—の爲めに存するといつてもよい位であつて、彼の最近の我國に於て喧しかつた減稅廢稅の運動の如きも、畢竟するに此理想に徹底せんが爲めの生みの苦みである。則ち國家主義すらも近代的の意義に於ては國家的個人主義なりといつてよい位である。

社會主義然り、國家主義然り、況んや其他をや。實業界に於ける商賣の懸引も個人主義たり、文學上の作品に著はるゝ精神も個人主義たり、敎會の講壇にも個人主義あり、學校の敎室にも個人主義あり其極端なるものに至つては、甚しき利己的色彩を帶びて其軌道を逸す。本能主義は其性慾的墮落にして、溜富蓄積は其經濟的墮落である。前者は則ち彝倫を紊り、風紀を破る、後者は則ち贈賄收賄の罪惡を重ねて社會の道念を覆す、共に利己的時代精神、若くは個人主義思潮の變態的暴露である。(救濟研究)

○婦人運動

昨年中に於ける歐洲の婦人運動
フオセツト夫人

昨千九百十三年中に私共の運動は左の如く進步しました。

1、勞働黨は昨年、其の年會に於て、婦人にも選擧權を與ふるの條項を含むにあらざる限り男子の選擧權を今日よりも擴張することに贊成しないと云ふ、決議を爲しました。

2、婦人選擧權協會の非戰鬪的國民同盟によりて遊說

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

計畫は各地に於て非常に歡迎されました。

3、婦人に選擧權を與ふることは、アラスカに於て、其の議會を通過しました。

4、婦人の選擧權獲得運動はイリノイ太で勝利を得ました。

5、諾威に於ては、六年間實行した上の經驗で國會に於ける諸黨派の賛成を得て、更に婦人の選擧權を擴張しました。

6、婦人選擧法案は六票に對する百〇一票の多數で丁抹國會の第三讀會を通過した此の時棄權したものは四人でしたとのことです、

7、和蘭の國會開院式に賜はりし女皇の勅語の中に、婦人選擧權に就ての御言葉がありました。

8、教友派の倫敦年會の報告よりの中に、婦人選擧運動に對して、同情ある議論がしてありました。

9、ブダペストにて開會されし、萬國婦人選擧權會議に出席せし、既に婦人に選擧權を與へ居れる國の代表者によりて、婦人の投票の好成績に就ての幾多の證據が示されました。

10、サウザンプトンに開かれし敎會の會議に於て、婦人選擧權運動に援助を與ふるの議が可決されました。

、二百萬の勞働者を代表する勞働組合の年會は、婦人に選擧權を與ふることに賛成せざる政府を非難するの決議を爲しました。

12、アルスター勞働組合の會議は、其の憲法草案に於て婦人選擧權主義を採用し、其の支部政府を組織する際に、婦人にも投票せしむることとしました。

13、自由婦人選擧權同盟にては、自由黨の候補者にて婦人の選擧運動に賛成せぬものには一切援助を與へぬと云ふ決議をしました。

14、婦人選擧運動に援助を與ふる爲めに自由黨員の一團體が出來ました。（新眞婦人）

○貞潔

英人と佛人の男女關係

五來素川

一體身體の全部を被ふと云ふことは、西洋服の特色で、其出て來る所は即ち「女を見て惡しき心を起したるものは既に姦淫したるなり」といふ基督教の嚴格なる敎訓に本くものに相違ない、然るに若し夜會とか舞踏會とかになると西洋婦人位其肌を見せるものはなく、大抵胸から脊中に掛けて兩腕迄之を露はすといふことが習慣になつて居る、此不盾は何處から來て居るかと云ふに乃ち裸體を惡む基督敎文明と裸體美を愛する希臘文明との爭ひを表示して居る、平生の理性的な生活に於ては前者が勝ちを制するけれども、御祭騷ぎになると後者が勝利を占める、婦人の身體の上に一つの文明の戰爭が行はれ、互に其領分を爭ふて居るものと解することが出來る。

此爭ひは婦人の身體上のみならず、國の上にも行はれ、佛國の如きは裸體美を愛することに何の制限もないけれど、新敎國では一般に此風が少なく、殊に英國に於ても然りである是は該國に基督敎文明の尤も勝利を占めて居る爲めである。

英國人が如何に宗敎的であるかは今更此に縷述する必要はないが、其實際を見ると更に驚かるゝものがある、自分は嘗て佛國から海を越えて英國に行つたことがある、英國に着いて汽車で倫敦迄行かうと思つて、或る客車に腰を下すと、一人の佛國の女が自分の側に腰を掛けた、それは一見して醜業婦が、自分を善き獲物と心得て附狙つて居ると云ふことが分る、然るに自分の正面に一人の英國紳士が腰を掛けて居た、年頃五十前後の質素な仕度をした人で、先づ田舍の紳士とでも云ふべきものであつた、今醜業婦がわざと自分の傍に座を占めたのを見て、自分に向て「貴君此處へお掛けない」と云ひ乍ら彼れの側の空席を示して自分を招いた、自分は云ふが儘に紳士の側に坐した、すると醜業婦は顏を赤くして立ち去つた、此一談は如何に英人が人間の靈性と云ふことに注意して居るかを示す、彼れの眼には一人の東洋人が、惡魔に見込まれて追ひ掛けられて居る、彼の靈は如何になるであらうか、其行方は覺束なきことであると思ふ一種の高尙なる同情心がある。苟も靈性の奮鬪に經驗のある者の皆淚を揮ふべき問題である。是が佛人であつたなら「はあゝ、あの東洋人醜業婦に追廻はされて居るな、今に引き掛らずには居るまい」位のことで、面白半分に見物して居るであらう。（中央公論）

○生活

女學校の家計簿

内田魯庵

近頃の女學校での家事講習とか又は婦人雜誌などに揭載せられる家計簿、家計の豫算表とか云つた種類のものがある。それには五十圓の生活では斯う、三十圓の收入では斯うと云ふやうに、如何にもユッタリと生活が出來るやうに數字が並べられてある、多少實際の經驗を積んだ眼から見ると、それらの多くは全然實際の生活を無視して居ると云つて好い程に、迂遠極まる、ほとんど空想で以て造り上げられたものであると云ふことが判るので

ある。實地には行ふことの不可能な豫算表である。それが、斯うした實地に行ふことの不可能な、多分は空想で以て手際好く數字を配列按排したやうな豫算表を信じて、それで實際の世の中に出て來た若い婦人達の事毎に失敗し、一朝に空想を破られるのは當然のことであらうと思ふ。

一寸例を言つて見ると、五拾圓位ゐの收入の生活では女學雜誌の豫算表に據ると家賃が大抵七八圓と云ふことになつて居るが、今日東京で七八圓の家賃の家と云ふと、何れ裏店かひどい場末にでもなければ見當らない。また家族が五人で米代が拾圓と云ふのも、鳥渡危ない。それから極端なのになると主人の小遣ひが參圓乃至貳圓などと云ふのがあるが、假りにも洋服でも着て五拾圓も月給を取る主人の小遣ひとしては事實電車賃にも足りない豫算である。

それが一方の勞働者階級ならぬ紳士向きの生活となると、五拾圓位ゐの收入でも主人は洋服で出勤する、女も縮緬の羽織位ゐは引かける、偶には帝劇へも出かけて見ると云つたやうな譯で、到底車夫勞働者の眞似は出來ないのである。而も一方女學校では生活方法を教へるのに、或は瓦斯電氣の效用とか、いや臺所はセメントのタヽキが好いとか、空氣の流通はどうとか、敷物はオイルクロースが好いとか云つた風で、全く家計簿豫算表とは矛盾した生活方法を教へて居ると云ふ有樣であつて、甚だしく實際の生活から縁遠いやり方であると思ふ。(婦人評論)

實際的の大阪人と組織的の東京人

高山拙三

大阪人は比較的に小組織の事業を經營するに長し漸次に擴張するが、東京人は最初より大げさに組織的に事業を經營する。それで大なる工場もあるが、小工場の多いことは大阪の特色である。例へば普通の住宅に多少の修繕を加へたもので二三人乃至十餘人の職工を集め、主人が眞黒になつて眞先に働いてゐて如何にも感心であるが、其組織が出來てゐないから、主人の眼前では職工も能く働くが、少し主人の眼を離れると直ぐに惰ける。是は工場ばかりでない。商店でも亦同じである。故に主人の監督の届く範圍内に於ては何れも忠實に働き、從つて事業も夫だけ發展するが、規模が大となり、居ながらにして主人の目が届かなくなると思はしく發達せぬ。これは主人自身が使はれた場合に、見張りの利く範圍内のみを監督せられた實驗より叩き上げ、組織もない唯だ實際一方に訓練せられた結果であらう。之に反し東京人は組織を主とし、内部の組織の如きも出來るだけ全からしめ、大阪人ならば十人で間に合せる場合にも十五人を用ひ、一見如何にも整然として仕事する。故に最初の小規模の場合には經費倒れがして折角の組織も充分に利用せられないとが多い。つまり東京人は學問的であるが、大阪人は實際的である。若し兩者の長短が相補ふことが出來たなら、事業の大小に應じ必ず能く發展し經營し得られるであらうと思ふ。(實業の日本)

社會

人種改善及び結婚と戀愛

健康保護の運動は米國全體に行渡り、人種改善問題は今や米國が最も盛んである、即ち不健全な人の婚姻を防止する爲に諸州に其法律を實施せんとしてゐる。ペンシルバニヤの元老院は此の人種改善的結婚の爲め法律を制定し、其他の諸州も亦之に倣はんとし、尚ほ一說公衆に之を是認せしむる爲め諸所に會を開き、人種改善に關する小册子を一般人に頒布し、其數頗る莫大なるのであつた。此思想は過般シカゴに於て開催された精神病學者の會議に於て峻烈に論ぜられ、總ての立法者は家族の變質的分子を根絶する爲め、嚴重な結婚法を制定すべきであると主張され十五ケ所の政府は之が爲に會議を開くに至れり、演說者の一人ドクトル、モーリス氏は、萬惡の本は戀愛であると、戀愛に對して開戰を宣し、討論最高調に達し最強の反響を喚起した。モーリス氏は總ての戀愛者を精神錯亂者であると大膽に說き、然らば如何なる男女が結婚すべきやとの問題に對して次の如く云つてゐる『戀愛は結婚問題に對しては第二條のものである。健全にして相似たる傾向を有する同程度の兩人は、戀ふると戀へざるとは問ふの必要なく、結婚して少しも差支はない。此際特に必要なるは彼等が先づ健康證明書を携へなければならぬ事である』と、此會議では總て健康上不適當な人間は、その結婚を禁ぜらるべき法律を採用するに一致の決議をした。時代が益々科學的になり、實際的になり、空想や、根底のない理想の斥けられて行く、吾々の新しい時代は、事實を根據とし、科學の實證の上に立つた新理想の時代である。(第三帝國)

婦人の服裝

與謝野晶子

婦人の服裝に就て自分の希望を云へば衣服の中に肉體の線を隱して仕舞ふ日本服を、反對に肉體の美――に衣服を調和させ衣服を透して肉體の美――寧ろ全人格の美を發露することを主とする佛蘭西風の服裝に改めたいと思ひます

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

(○談叢)

動作の不活潑と云ふことも今後の時代では醜の一種ですから、其點に就いても日本の女の服裝は文明と伴はない氣が致します。一體に創意の快いことを知らずに他律的なことに盲從し慣れた日本の女は、服裝に就ても自分獨特の新しい見識で自分を表示する樂しさに氣附かず。從つて何の勢力も其方面に揮はない樣ですけれど其內に古代希臘の服裝を巴里の眞中で實現して居るイサドラ・ダンカン夫婦や、未來派の踊と共に其服裝を意匠して近頃同じく巴里で公演した詩人サンポワン女史の樣な大膽な實行者が現はれて來るだらうと思ひます。

自分は洋裝本位にしたいと望みますけれども必ずしも佛蘭西の流行を難有がるのでなく、自分勝手な意匠で新しい歐風の服を作るがよいと思ふのです。男の洋裝と異つて、女の洋裝は日本の織物許りを利用して十分に作れるのですから、決して不經濟には流れないでせう。縫込澤山な日本服の半分の材料で隨分出來上るのですもの。

洋裝は住宅と釣合はないと云ふ非難もありませうけれど、そんな事を云つて居た日には亂雜な日本の衣食住は何時迄たつても改まらないでせう。同時に凡ての改革をしようと云ふのは國狀が許しませんから、何にせよ手の屆く所から先きに改革を實行する人多く出て來るのを望みます。

服裝の改革は外出する機會の多い女學生の間に自然早く行れるでせう。(新日本)

世界一の大男

萬朝報

昨年暮れに、倫敦を訪うた大男として、身長七呎九吋五分の一ある**フレデリツク・ケムプスター**のことを紹介したが、驚くべし、彼れ**ケムプスター**は、其後僅か此の二三ケ月の間に更に身長一呎餘を加へ、八呎十一吋の大男となつた、彼が七呎九吋餘ある時迄は八尺五寸餘ある世界一の大男佛人**ヨセフ・デユソルク**に比して尙ほ遜色があつたが、今度は却て彼れの方が**デユソルク**よりも六吋許り優さる大男となつた譯だ。これにつけても、人々は彼れの發育の異常に急速なるに驚いて、彼が若し今後も此の勢ひで身長を加ふるならば、彼は寧ろ最早大男ではなく、**スカイスクレパー**(雲突く怪物)となるだらうと云つてゐる。

いつまでも若やいで且つ美人でゐるには

ステケル氏

藝術や道德の修養に由つて人間の面貌が高尙になり美しくなることは、一般に人の認むる所であらう。醜き人の詩を吟じたり歌を謠ふたりするときは一種の光彩を放つて美化する。これ即ち內部の美の喚發したものであつて、最も人を感動せしめ魅するものである。此の如く內在美の光彩がその面上に輝くときは、却つて醜き女ほど恐ろしく人を惑はすものである。かの惡女が戀や情を表はすに方りて如何に美しくなるかは誰でも驚嘆する所である。この對照たるや眞に婦人否人間凡てが有する深甚の魔術である。美女は固より常に美であつて惱みの時でも決して醜くゝはならない、只少しく美を失するに過ぎない。然るに人並の女或は醜婦の如きは人心を襲ふて恍惚たらしめるほど美しくなると、その感興は陪從するものである。此等の婦人が又時と共に眞に美化するは我等の經驗する所である。蓋し凡て美麗な事柄にたづさはることは最良の美化法で且つ若やぎの手段である。固より之には理由もあらうが精神の若やいでゐる限り、美を保ち得るのである。要するその氣分や情操が常に新鮮で若々しくあれば、年齡の如何に拘らず心の欲する限り猶美しくある事が出來る。(獨逸フランクフルト新聞)

會員諸君に告ぐ

會費納入につき 本會々費は、すべて前金に納入せらる可き規定なるに、往々にして半歲以上も滯納せらるゝ向あり、右は整理上の不便不尠候につき、此際至急最寄の郵便局より左の振替口座により御拂込相成度候。

東京二七〇七二番

但し大阪支部員に限り左の處へ拂込相成度

大阪市北區中ノ島六ノ六

廓淸會大阪支部

轉居通知につき 轉居御通知の場合は必ず、新舊兩住所を明瞭に記載せられたし。

會員の文書につき 雜誌及び會費に關する照會交涉等はすべて便宜上左記の處宛に願上候。

東京市神田區今川小路一ノ三伊藤秀吉方

廓淸編輯所

正誤 本誌二月號湯淺治郞氏の論文中、群馬廢娼の提案者を眞島小十郞氏とせるは、眞下珂十郞氏の誤本誌三月號ブラシユコ博士の講演中六頁上欄九行」制限を思はれば」は「制限を忍ばれば」の誤、七頁上欄統計表中の「轉居」は「獨居者」の誤「娼家屋」は「娼家住者」の誤。同頁下欄五行「總計」は「統斗」の誤十一頁上欄二十一行「とを失ひ」は「とを共に」の誤。

●高等佛語教授

每週月水金午後五時より

神田美土代町 青年會館內